

小牧市まちづくり推進計画
第2次基本計画

実施計画（令和7～9年度）

当初予算の概要（令和7年度）



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki



小牧市民憲章

市制施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 一、健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう。
- 一、感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう。
- 一、緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう。
- 一、高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう。
- 一、希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう。

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言（要約）

市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。

目 次

◇第Ⅰ部 実施計画・当初予算の概要

第1章 実施計画の概要	13
1 実施計画の位置づけ	
2 計画期間	
3 基本方針	
4 対象事業	
第2章 市政の動向	15
1 人口見通し	
2 計画期間中の財政見通し	
第3章 まちづくり推進計画の体系と都市ヴィジョン	16
1 体系	
2 都市ヴィジョン	
第4章 実施計画事業一覧	19
第5章 当初予算の概要	58

◇第Ⅱ部 市政戦略編

戦略1 すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境 を創出	89
戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の 循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことが できる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築	104
戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる 小牧を創造	116



◇第Ⅲ部 分野別計画編

第1章	安全・環境	129
第2章	健康・福祉	144
第3章	教育・子育て	159
第4章	文化・スポーツ	172
第5章	産業・交流	180
第6章	都市基盤・交通	189

◇第Ⅳ部 自治体経営編

第1章	自治体経営	211
-----	-------------	-----

◇令和7年度当初予算 主要事業の概要

1 一般会計

単位:千円

市政戦略編		予算額	掲載 ページ
戦略1			
	こまきこども未来大学開催事業 (秘書政策課)	5,295	91
充実	こども夢・チャレンジ推進事業 (こども政策課・学校教育課)	35,243	92
	高校・大学等進学支援事業 (福祉総務課・学校教育課)	13,200	95
	こまきこども未来館運営事業 (多世代交流プラザ)	139,638	96
	保育料無償化拡充事業 (幼児教育・保育課)	91,565	97
	給食費負担軽減事業 (学校給食課)	1,858	98
充実	子育て世代包括支援センター運営事業 (子育て世代包括支援センター)	317,597	99
	児童生徒1人1台タブレット整備事業 (学校教育課 ※)	70,700	100
	米野小学校改築事業 (教育総務課)	1,277,817	101
新規	学校再編推進事業 (教育総務課)	36,267	102
戦略2			
	健康増進施設運営事業 (健康生きがい推進課)	29,667	106
	高齢者外出支援事業 (地域包括ケア推進課)	14,602	107
	地域協議会設立推進・活動支援事業 (支え合い協働推進課)	31,198	108
	健康いきいきポイント推進事業 (健康生きがい推進課)	14,185	110
充実	支え合いいきいきポイント推進事業 (支え合い協働推進課)	6,075	112
	こまきプレミアム商品券発行助成事業 (商工振興課)	263,000	114
戦略3			
	中心市街地活性化事業 (都市整備課)	7,264	118
	小牧山東公園整備事業 (みどり公園課)	241,200	119
	史跡小牧山整備事業 (小牧山課)	208,662	120
	東部まちづくりプラットフォーム推進事業 (東部まちづくり推進室)	4,895	121
充実	企業新展開支援プログラム推進事業 (商工振興課)	89,203	122
	企業立地推進事業 (企業立地・次世代産業推進課)	595,509	124



分野別計画編			予算額	掲載ページ
(1) 安全・環境				
	消防団車庫建設事業	(消防総務課)	127,096	136
充実	ゼロカーボンシティ推進事業	(ゼロカーボンシティ推進室・幼児教育・保育課)	37,945	140
(2) 健康・福祉				
充実	带状疱疹予防接種事業	(保健センター)	132,556	147
新規	5歳児健康診査事業	(保健センター)	5,112	148
新規	電子カルテ・健診予約システム整備事業	(保健センター)	16,311	149
充実	不妊不育治療等助成事業	(保健センター)	23,620	150
(3) 教育・子育て				
新規	体育館空調機設置事業	(教育総務課)	80,396	163
	出会い・結婚支援事業	(出会い・結婚支援室)	21,200	166
新規	米野児童クラブ整備事業	(こども政策課)	2,362	167
充実	養育費確保支援助成金支給事業	(こども政策課)	950	168
	保育園適正配置・整備推進事業	(幼児教育・保育課)	453,593	170
	(仮称)第一こども園施設建設事業	(幼児教育・保育課)	347,308	171
(4) 文化・スポーツ				
	第20回アジア競技大会競技施設改修事業	(文化・スポーツ課)	156,612	174
(5) 産業・交流				
	米国ワイアンドット市・グラント郡交流事業	(シティプロモーション課)	11,170	182
	(仮称)農業公園整備事業	(農政課)	48,880	185
(6) 都市基盤・交通				
	土地区画整理事業関連整備事業	(区画整理課)	418,285	192
	自動運転実証調査事業	(都市整備課)	153,227	194
	こまき巡回バス「こまくる」運行事業	(都市整備課)	393,517	195
	道路整備事業	(道路課)	255,000	197
	地域の水害対策事業	(河川課)	201,959	201
	公園緑地施設整備事業	(みどり公園課)	943,500	203
新規	市道犬山公園小牧線街路樹再生事業	(みどり公園課)	25,266	204
充実	定住促進事業	(都市計画課)	64,800	207
自治体経営編				
	高齢者デジタルサポート事業	(行政改革課)	2,900	213
充実	業務効率化ツール導入事業	(行政改革課)	4,418	216
新規	電話交換機クラウド化事業	(資産管理課)	23,948	219
市制70周年記念事業			9,250	76

2 特別会計

	予算額	掲載 ページ
土地取得	3,443	78
国民健康保険事業	12,474,988	79
土地区画整理事業	1,439,238	80
介護保険事業	9,566,688	81
後期高齢者医療	4,763,426	82

3 企業会計

	予算額	掲載 ページ
病院事業	29,112,963	83
水道事業	4,505,939	84
下水道事業	4,929,668	85

(※)を付してある課名は、令和7年4月1日からの担当課名であることを示しています。



主要事業予定地





◇ …… 保育園適正配置・整備推進事業



第 Ⅰ 部

実施計画・

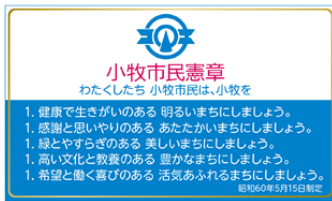
当初予算の概要

第1章 実施計画の概要

1 実施計画の位置づけ

小牧市では、小牧市自治基本条例第19条第1項において、小牧市民憲章(昭和60(1985)年5月15日制定)に掲げる理想のまちを実現するため、その基本となる計画を定めることとされており、「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」(以下「まちづくり推進計画」という。)を策定しました。

実施計画は、まちづくり推進計画で示した施策を推進するためのアクションプランとして主要な事業を位置づけたものです。3か年計画として策定していますが、社会情勢の変化に適切に対応するため、ローリング方式により毎年度策定します。



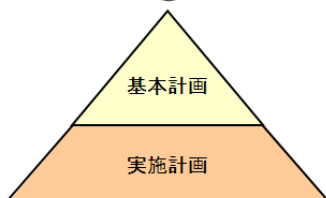
【小牧市民憲章】

- 市民のみちしるべとして、健康で明るい生活を送るため、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するために制定されたもの。



【小牧市自治基本条例】

- 小牧市の自治に関する基本的なことをルールとしてまとめ、「市民」「議会」「行政」が目指すべきまちの姿を共有するとともに、それぞれの役割と責任を明確にし、市民主体の自治の推進を図るためのもの。



【小牧市まちづくり推進計画】

- 小牧市の最上位計画であり、市政運営の基礎となるもの。
- 施策の実施手段である主な事務事業を位置づけた基本計画の実行手段にあたるもの。
- 3か年を計画期間としてローリング方式により毎年度策定する。

2 計画期間

本計画の期間は、令和7年度から令和9年度までの3か年とします。

3 基本方針

本計画の策定に当たっては、現状を打開できる新規事業、徹底的な見直しにより事業効果を高めた充実事業、市民ニーズや社会情勢に的確に対応する事業を厳選するとともに、次の点を基本として策定しました。

- ・所要一般財源の精査
- ・小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画の推進
 - ① SDGsの推進
 - ② 都市ブランド戦略の推進
 - ③ 人口減少・少子高齢化への対応
 - ④ ダイバーシティの実現
 - ⑤ DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
 - ⑥ カーボンニュートラルの実現
- ・協働の推進
- ・効果的なプロモーションの実施

4 対象事業

令和7年度から令和9年度までの3か年に実施が見込まれる事業のうち、まちづくり推進計画に掲げた3つの都市ヴィジョンや基本施策の実現に向けて重点的に取り組む新規事業、充実事業などを対象※としています。

本計画の策定に当たっては、経済情勢などを勘案し、健全な行財政運営が推進できるよう各般にわたり意を配しましたが、今後の社会情勢によっては修正を加えるなど、柔軟に対応していくこととします。

※ 今回の計画策定に当たり、対象事業の整理を行っています。



第2章 市政の動向

1 人口見通し

住民基本台帳人口に基づき、出生・死亡・移動について仮定値を設定した上で推計を行うコーホート要因法により、本計画期間中の人口を次の表のとおり想定しました。

【人口の見通し】

		実績値	推 計 値		
		令和6年度 (R7.1.1)	令和7年度 (R8.1.1)	令和8年度 (R9.1.1)	令和9年度 (R10.1.1)
総人口		149,025	148,571	147,865	147,111
年少人口 (0～14 歳)	人数 (人)	17,528	17,771	17,421	17,120
	構成比 (%)	11.8	12.0	11.8	11.6
生産年齢 人口 (15～64 歳)	人数 (人)	93,202	92,468	92,188	91,731
	構成比 (%)	62.5	62.2	62.3	62.4
老年人口 (65 歳～)	人数 (人)	38,295	38,332	38,256	38,260
	構成比 (%)	25.7	25.8	25.9	26.0

2 計画期間中の財政見通し

本計画を策定するに当たり、国の動向や社会経済情勢を勘案して今後3か年にわたる財政の見通しを推計し、主な事務事業の実施に要する財源を見込んだ結果、実施計画の事業費は3年総額 38,098,704 千円(うち一般財源 23,262,498 千円)となりました。

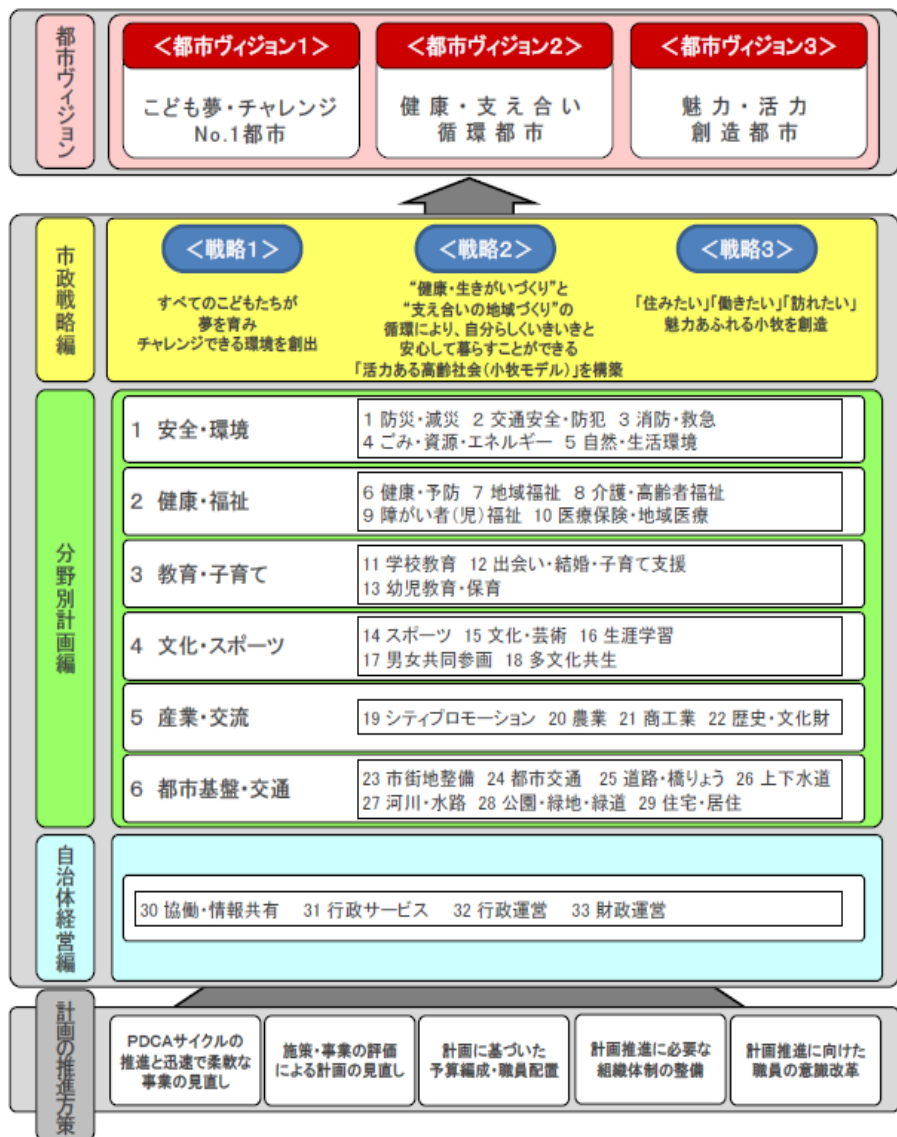
【項目ごとの事業費】

(単位:千円)

市政戦略編	戦略1	7,410,871
	戦略2	856,865
	戦略3	2,556,363
分野別計画編		26,386,965
自治体経営編		887,640

第3章 まちづくり推進計画の体系と都市ビジョン

1 体系



2 都市ヴィジョン

小牧市民憲章に掲げる理想のまちを実現するため、次の3つの都市ヴィジョンを機軸として掲げ、「活力ある高齢社会（小牧モデル）」の創造と「若年世代の定住促進」を図ります。

都市ヴィジョン1 「こども夢・チャレンジNo.1 都市」

こどもの夢への挑戦をまち全体で応援していくことで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、あたたかく支え合い、暮らしやすい魅力あふれるまちをつくっていくことをイメージした都市概念です。

夢やチャレンジの象徴であり、次代の地域を担うこどもたちの様々なチャレンジを地域全体で応援することで、すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまちづくりへとつなげる『こども夢・チャレンジNo.1 都市』を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
将来の夢や目標を持っているこどもの割合	78.9%	79.8%				↗
安心して子育てができるまちだ と思う保護者の割合	89.6% (令和3年度)	86.1%				↗

都市ヴィジョン2 「健康・支え合い循環都市」

幸せな高齢社会を実現するために、市民の健康づくりを支援し、支え合いの地域づくりに力を注ぎ、「健康」と「支え合い」の地域内循環を目指す小牧市独自の取組をイメージした都市概念です。

市は、スポーツを通じた健康増進を図り、様々な学びを通じて、より豊かな自分らしい人生を送ることができるようにするとともに、市民が様々な場面で主体的に活躍できる環境づくりを進めます。

そして、市民活動や地域自治の充実拡大を通じて「暮らしの安心」を支える地域での支え合い助け合い活動を促進することにより、高齢者をはじめ、市民が安心して暮らし続けることのできる『健康・支え合い循環都市』を目指します。

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
生きがいを持って暮らしている 65歳以上の市民の割合	79.5% (令和3年度)	75.2%				↗
地域に貢献する活動をしている 市民の割合	18.5% (令和3年度)	23.1%				↗

都市ヴィジョン3 「魅力・活力創造都市」

若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力ある都市と、経済・雇用・財政の基盤が確立された活力ある都市の創造をイメージした都市概念です。

本格的な人口減少時代に突入し、このまま若い世代が減り続ければ、まちの活力が失われてしまいます。そこで、若い世代が住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めることにより地域活性化を図っていきます。

そして、地域経済を支援し、バランスの良い産業集積を今後も持続的に高めることにより、経済・雇用・財政の基盤が確立された、将来にわたって輝き続ける『魅力・活力創造都市』を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	79.9% (令和3年度)	81.3%				↗
名鉄小牧線沿線居住人口	88,975人	88,837人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



第4章 実施計画事業一覧

まちづくり推進計画に位置づけられた市政戦略編、分野別計画編及び自治体経営編の基本施策別に各実施計画事業を記載しています。

《事業一覧の見方》

項 目	内 容
区 分	新たに実施する事業には「新規」、内容を拡充・見直す事業には「充実」がついています。
事業名 【担当部署】	事業の名称及び担当する課(室)を記載しています。事業名称のあとの()は、令和7年度当初予算上の中事業名を示しています。 なお、担当課名に付してある(※)は、令和7年4月1日からの担当課であることを示しています。
R7～9 事業費	3年間に見込まれる事業費の合計を記載しています。
事業内容	事業の概要などを記載しています。
掲 載 ペ ー ジ	第Ⅱ部以降に掲載がある場合にページを示しています。



1. 市政戦略編

戦略1 すべての子どもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

7,410,871 千円

重点事業1-1 子どもたちの夢への挑戦を応援

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
1		こまきこども未来大学 開催事業 (SDGs未来都市推進事業) 【秘書政策課】	12,510	「SDGs 未来都市」として、企業や団体との連携を強化し、「こまきこども未来大学」を中心としたSDGsを推進するための取組を実施する。			91
				実施	⇒	⇒	
2		夢にチャレンジ助成金支給事業 (こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	3,068	25歳以下の高校生、大学生、社会人等を対象に、夢に向かってチャレンジしたい内容についてプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給する。また、市内在住の中学生が自身の夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらう契機とする。			92
				実施	⇒	⇒	
3		大学生等海外留学奨学金支給事業 (こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	11,100	国際的視野を持った人材を育成するため、海外留学する15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等に対して奨学金を支給する。			92
				実施	⇒	⇒	



番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
4	充 実	学習支援事業「駒 来塾」 (こども夢・チャレンジ 推進事業) 【こども政策課】	16,851	学力の定着が進んでいない中 小学生を対象に、ボランティアなど による学習支援活動を実施す る。令和7年度からは新たに南 部地区で開講する。			93
				実施	⇒	⇒	
5	新 規	高校生等社会参画 事業 (こども夢・チャレンジ 推進事業) 【こども政策課】	1,560	高校生等が身近な課題や関心 事についてプロジェクトを立ち上 げ、意見表明や社会参画を通し て地域や社会に主体的に関わ る意識を育む。			94
				実施	⇒	⇒	
6		夢の教室開催事業 (特色ある学校づくり 推進事業) 【学校教育課】	16,827	夢を持つことの大切さ、仲間と 協力することの大切さを伝えるた め、小学5年生を対象に「夢の 教室」を開催する。			94
				実施	⇒	⇒	
7		奨学交付金交付事業 (奨学交付金等交 付事業) 【学校教育課】	36,000	経済的に恵まれない生徒を対 象に高等学校等へ進学時に育 英資金を交付する。			95
				実施	⇒	⇒	

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
8	充 実	特色ある学校づくり 推進事業 【学校教育課】	54,000	教科横断的な視点に立ったカリキュラム編成により従来の総合的な学習を一層充実させ、こまき「夢☆チャレンジ」科として「こども夢・チャレンジNo1 都市」の基本理念に則った、より発展的で持続可能な「探究的な学び」を推進する。			94
				実施	⇒	⇒	
9		大学等進学応援交付金支給事業 【福祉総務課】	6,120	生活保護世帯や児童養護施設等から大学等に進学した学生等を対象に応援金を支給する。			95
				実施	⇒	⇒	
10		こまきこども未来館運営事業 (児童館施設管理事業) 【多世代交流プラザ】	354,017	こまきこども未来館において、遊びや体験を通じてこどもたち自身の学びにつなげられる講座や体験活動等を実施する。			96
				実施	⇒	⇒	



重点事業1-2 子育て家庭への支援を強化

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
11		保育料無償化拡充事業 【幼児教育・保育課】	303,051 (557,974) ^{注1}	0歳児から2歳児までの保育料を無償化することで子育て世代の負担軽減を図る。			97
				実施	⇒	⇒	
12		給食費負担軽減事業 (一般事務事業) 【学校給食課】	1,858 (470,319) ^{注2}	第2子中学生及び第3子以降小中学生の給食費無償化を引き続き実施する。			98
				実施	⇒	⇒	
13	充 実	子育て世代包括支援センター運営事業 【子育て世代包括支援センター】	952,125	安全で安心な妊娠・出産・産後を支援するため、妊娠届出時から切れ目ない支援を実施する。 令和7年度からは生後1か月頃の乳児を対象に発育状況や栄養状態、身体異常の早期発見等を目的として、健診内容の充実を図り、医療機関との連携を強化する。			99
				実施	⇒	⇒	

(注1)保育料無償化による歳入影響額です。

(注2)給食費無償化による歳入影響額です。

重点事業1－3 未来を見据えた教育環境の整備

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
14		児童生徒1人1台タブレット整備事業 【学校教育課(※)】	588,700	児童生徒1人1台タブレットをリース契約により更新する。			100
				更新	⇒	⇒	
15		米野小学校改築事業 【教育総務課】	5,016,817	老朽化・狭あい化した米野小学校の改築を行う。			101
				改築工事	校舎・体育館 竣工	供用開始 外構工事 旧校舎・体育館 解体	
16	新規	学校再編推進事業 【教育総務課】	36,267	「小牧市新たな学校づくり推進計画」に基づき、市内小中学校の学校再編を進める。			102
				地区別の 学校再編計画 策定			



戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

856,865 千円

重点事業2-1 人生100年時代の健康づくり

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
17		健康増進施設運営事業 (健康増進施設管理事業) 【健康生きがい推進課】	89,457	市民が健康づくりに取り組むための“気づきの支援”や“きっかけづくり”を行うための拠点として、フレイルチェックシステム等のデジタル技術を取り入れた「ヘルスラボ・こまき」を運営する。			106
				実施	⇒	⇒	
18		高齢者外出支援事業 (高齢者生活支援事業) 【地域包括ケア推進課】	45,517	高齢者の外出支援として、要介護1以上の方に行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付する。また、要介護3以上の方に行き先を医療機関などに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成する。			107
				実施	⇒	⇒	



重点事業2-2 生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
19		こまき市民交流テラス ワクティブこまき 運営事業 (市民交流テラス施設管理事業) 【支え合い協働推進課】	88,737	こまき市民交流テラス ワクティブこまきにおいて各種講座や交流会を開催し、市民の自主的な活動が活発に行われる環境づくりを行う。			
				実施	⇒	⇒	



重点事業2-3 健康づくり・地域の支え合い活動の循環

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
20		地域協議会設立推進・活動支援事業 【支え合い協働推進課】	93,594	地域協議会の設立推進を図るとともに、設立後の財政支援及び人的支援を行う。			108
				実施	⇒	⇒	
21		健康いきいきポイント推進事業 【健康生きがい推進課】	24,485	健康づくりの取組に対しポイントを付与し、獲得ポイントを市内限定商品券等と交換する。またウォーキングアプリ alko を用いた取組を実施する。			110
				実施	⇒	⇒	
22	充 実	支え合いいきいきポイント推進事業 【支え合い協働推進課】	18,075	地域での支え合い助け合い活動に協力した場合にポイントを付与し、そのポイントを市内限定商品券と交換する。令和7年度からは、施設ポイントの対象施設を拡大する。			112
				実施	⇒	⇒	
23		こまきプレミアム商品券発行助成事業 【商工振興課】	497,000	こまきプレミアム商品券のプレミアム分と商品券発行にかかる事務経費の一部に対し助成を行う。			114
				実施	⇒	⇒	

戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造
2,556,363 千円

重点事業3-1 関係人口の拡大・深化

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
24		都市ブランド戦略推進事業 【秘書政策課】	303	市制70周年記念式典においてブランドムービーの放映やブランドロゴ入りトートバッグの配布を行うなど、ブランドをPRするとともに、市民の愛着と誇りの醸成を図る。			
				実施	⇒	⇒	



重点事業3-2 魅力と活力ある中心市街地の創出

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
25		中心市街地活性化事業 【都市整備課】	24,880	「小牧市中心市街地グランドデザイン」のまちの将来像を実現するため、「中心市街地まちづくりプラットフォーム」において、様々な形でつながる機会を提供するとともに、中心市街地活性化プロジェクト「コマナカ meet」を実施し、市民等と連携・協働しながら中心市街地の活性化を図る。			118
				実施	⇒	⇒	
26		小牧駅周辺整備事業 【都市整備課】	362,600	名古屋鉄道(株)と連携・協力しながら、市の玄関口に相応しい新たなにぎわい空間や居心地の良い空間を創出するため、東西の駅前広場や都市公園、名鉄小牧駅ビルを一体的に捉えた小牧駅前広場等の再整備を行う。			
				実施	⇒	⇒	
27		小牧山東公園整備事業 【みどり公園課】	241,200	小牧市中心市街地グランドデザインに基づき、旧図書館跡地に民間活力を導入した公園を整備する。			119
				供用開始			

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
28		史跡小牧山整備事業 【小牧山課】	374,770	郷土の歴史や文化への誇り・ 愛着を醸成するとともに、貴重 な歴史遺産を後世に残すた め、発掘調査の成果を基に 復元整備を行う。			120
				実施	⇒	⇒	



重点事業3-3 夢と希望あふれる東部地域の振興

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
29		東部振興構想中間 見直し事業 【東部まちづくり推進室】	3,700	東部振興構想の中間見直し を行う。			
					改定		
30		東部まちづくりプラット フォーム推進事業 【東部まちづくり推進室】	29,519	東部振興構想の実現に向け て、東部まちづくりプラットフォー ムにおいて、ワークショップや セミナーの開催、トライアル活 動の実施など具体的な取組 を進める。			121
				実施	⇒	⇒	
31	新規	桃花台線旧車両基 地用地利活用推進 事業 【東部まちづくり推進室】	456	愛知県との共有地である桃 花台線旧車両基地用地の未 利用地部分について、地元 ニーズ及び東部振興構想等 を踏まえ、利活用に向けた検 討を進める。			
				検討			

重点事業3-4 市内産業力の強化と地域経済の活性化

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
32	充 実	企業新展開支援プログラム推進事業 【商工振興課】	267,827	市内事業者の操業を支援し 市内産業の振興を図るため、 企業新展開支援プログラムに 基づいた補助制度を実施す る。			122
				実施	⇒	⇒	
33		企業立地推進事業 【企業立地・次世代 産業推進課】	1,155,519	企業誘致、市内企業の流出防 止及び操業支援にかかる費用 の一部を助成する。			124
				実施	⇒	⇒	
34		次世代産業推進事業 【企業立地・次世代 産業推進課】	95,589	市内次世代産業関連企業の 設備導入、販路開拓、インター ンシップ受入、人材育成、航空 宇宙産業認証にかかる費用の 一部を助成する。			
				実施	⇒	⇒	



2. 分野別計画編 26,386,965 千円

(1) 安全・環境 710,373 千円

基本施策3 消防・救急

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
35		防火水槽耐震化事業 (消防水利整備事業) 【消防総務課】	107,049	老朽化した防火水槽を耐震性の防火水槽に更新するとともに、公用地に耐震性の防火水槽を新設する。			
				実施	⇒	⇒	
36		消防団車庫建設事業 (消防用施設設備整備事業) 【消防総務課】	127,096	消防団の第2分団車庫の移転に伴い、車庫を建設するとともに、同敷地内に耐震性の防火水槽を1基設置する。			136
				工事			



基本施策4 ごみ・資源・エネルギー

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
37		ごみ分別簡素化・資源化促進事業 (再資源化事業・収集処理委託事業等) 【ごみ政策課】	322,680	市民が資源を出しやすい環境を整えながら、効率的かつ安全に収集し、適正に処理を行う。			
				実施	⇒	⇒	
38	充実	住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業 (ゼロカーボンシティ推進事業) 【ゼロカーボンシティ推進室】	108,000	温室効果ガス削減に寄与する太陽光発電設備やHEMSなど住宅用地球温暖化対策設備の設置費に対する一部補助を行う。			141
				実施	⇒	⇒	
39	充実	公共施設照明設備LED化事業 【多世代交流プラザ】 【幼児教育・保育課】	45,548	市内公共施設の照明設備をLED照明に更新する。			140
				実施	⇒	⇒	



基本施策5 自然・生活環境

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
40	新規	「小牧の昆虫」作成 事業 (環境保全推進事業) 【環境対策課】	0	現在の小牧の環境状況を後世に伝えるため、ボランティア団体小牧市自然環境観察人が市内の昆虫の調査を行い、結果を電子データにまとめるとともにHP等で公開する。			
				実施			



(2) 健康・福祉 4,827,860 千円

基本施策6 健康・予防

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
41		健康経営支援事業 【健康生きがい推進課】	3,900	健康経営に取り組む市内事業者を支援するため、健康経営優良法人の認定取得にかかる手数料の一部を助成するとともに、健康経営セミナーを開催する。			
				実施	⇒	⇒	
42	新規	介護予防把握事業 【健康生きがい推進課】	(9,640) ^注	スマートメーターの電気使用量から AI がフレイル状態を検知する「e フレイルナビ」を導入し、フレイル状態のひとり暮らし高齢者に対し、専門職が個別支援を実施する。			
				実施	⇒	⇒	
43		いきいき世代個別歯科健診事業 (壮年期等保健事業) 【保健センター】	40,180	歯周病及びオーラルフレイルは、身体の状態と関係が深いことから、これを早期発見し、治療につなげるため40～80歳までの5歳刻みの市民を対象に個別歯科健診を実施する。			
				実施	⇒	⇒	
44		口腔がん検診事業 (壮年期等保健事業) 【保健センター】	4,146	歯肉、舌などに発症する口腔がんを早期発見し、治療につなげるため、集団検診を実施する。			
				実施	⇒	⇒	

(注)9,640 千円は小牧市介護保険事業特別会計内で実施する事業費です。



番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
45		骨髄提供者等助成 金支給事業 (一般事務事業) 【保健センター】	1,230	骨髄バンクへの登録者を増やすために、市独自の助成金を上乗せする。			
				実施	⇒	⇒	
46	充実	带状疱疹予防接種 事業 (予防接種事業) 【保健センター】	398,206	令和7年度から65歳、60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方に定期接種を実施する。ただし、5年間は、65歳以上の5歳刻み年齢も対象とする。また、定期接種対象年齢を除く50歳以上の市民を対象に带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成する。			147
				実施	⇒	⇒	
47	新規	5歳児健康診査事業 (母子保健健康診査事業) 【保健センター】	13,712	言語理解や運動能力が向上し社会性が発達してくる5歳児に、特性に合わせた適切な支援が受けられるよう健康診査を実施する。			148
				実施	⇒	⇒	

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
48	新規	電子カルテ・健診予約システム整備事業 (母子保健健康診査事業) 【保健センター】	24,759	乳幼児健康診査で電子カルテを導入する。また、スマートフォンなどから健診日の変更や問診票への入力可能なオンラインシステムを整備する。			149
				構築 ・仮稼働	本稼働	⇒	
49	充実	不妊不育治療等助成事業 【保健センター】	70,860	妊娠を希望するご夫婦の経済的負担の軽減を図るため、これまでの一般不妊治療、不育症治療の助成に加え、体外受精、顕微授精など生殖補助医療に要する費用も助成する。			150
				実施	⇒	⇒	



基本施策7 地域福祉

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
50		居場所づくり事業等 委託事業 (重層的支援体制 整備事業) 【福祉総務課】	20,700	ひきこもりの状態にある方又は その家族に対して直接働きか ける「アウトリーチによる支援」、 その方たちが気軽に集まり悩 みを共有できる「居場所づくり」 を実施する。			
				実施	⇒	⇒	



基本施策8 介護・高齢者福祉

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
51	新規	介護支援専門員支援事業 【介護保険課】	6,864	市内にある事業者が、従業員である介護支援専門員に対し研修費を補助した場合の補助分を市が負担する。			
				実施	⇒	⇒	
52		小牧市介護保険事業特別会計繰出金 【介護保険課】	4,239,070	小牧市介護保険事業特別会計への繰出金			81
				実施	⇒	⇒	

基本施策9 障がい者(児)福祉

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
53		視覚障がい者歩行訓練事業 (地域生活支援事業) 【障がい福祉課】	2,961	視覚障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、白杖を使用した歩行訓練等を実施する視覚障害者リハビリテーションワーカーを派遣する。			
				実施	⇒	⇒	
54		補聴器購入費助成事業 (補装具交付等事業) 【障がい福祉課】	1,272	18歳以上の中等度難聴者で市民税非課税世帯に属する方に対して、補聴器購入費用の一部を助成する。			
				実施	⇒	⇒	



(3) 教育・子育て 7,667,900 千円

基本施策 11 学校教育

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
55		スクールソーシャルワーカー配置事業 (いじめ・不登校対策事業) 【学校教育課】	35,589	いじめ問題などをはじめとした児童生徒の問題行動に対応するため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカーを配置し、対応を強化する。			
				実施	⇒	⇒	
56		小・中学校トイレ洋式化事業 (小・中学校施設営繕事業) 【教育総務課】	97,638	生活様式の変化の中で家庭、民間施設、公共施設などでの洋式トイレの設置率が高まっていることから、小中学校においても計画的にトイレ改修を実施していく。			
				工事			
57	新規	体育館空調機設置事業 (小・中学校施設営繕事業) 【教育総務課】	562,772	授業や部活動時の熱中症対策及び災害時の避難所としての利用を想定し、体育館に空調機を整備する。			163
				設置	⇒	⇒	

基本施策 12 出会い・結婚・子育て支援

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
58		出会い・結婚支援 事業 【出会い・結婚支援室】	63,600	結婚を望む方への婚活イベント や相談事業、ライフプランセミナー を開催するとともに、結婚生活 をスタートさせる 39 歳以下の夫 婦を対象に住居費用等を補助 する。			166
				実施	⇒	⇒	
59		ひとり親家庭等支援 事業 【子育て世代包括支援センター】	29,760	ひとり親家庭への経済支援とし て大学等の入学や高等学校卒 業程度認定試験等にかかる費 用の一部を助成する。			
				実施	⇒	⇒	
60		児童クラブ支援員 派遣事業《拡充分》 (児童クラブ運営事業) 【こども政策課】	12,600	夏休みにおける児童クラブ支 援員の人員不足を解消する ため、派遣職員により支援員 を確保する。			
				実施	⇒	⇒	
61	新規	米野児童クラブ整 備事業 (児童クラブ施設整 備事業) 【こども政策課】	82,362	米野小学校の全面改築にあ わせて、新校舎内に米野児 童クラブを整備する。			167
				工事	⇒	供用開始	



番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
62		大城児童クラブ運営委託事業 (児童クラブ運営事業) 【こども政策課】	42,680	児童クラブの質の向上と支援員の確保及び職員の事務負担軽減を図るため、大城児童クラブの運営委託を実施する。			
				実施	⇒	⇒	
63		放課後子ども総合プラン運営事業 【こども政策課】	17,178	放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して、共通プログラムを企画・運営する小牧市版放課後子ども総合プランを全小中学校で実施し、多様な活動プログラムに参加できる機会を提供する。			
				実施	⇒	⇒	
64	充 実	養育費確保支援助成金支給事業 (ひとり親家庭等支援事業) 【こども政策課】	2,850	離婚後の養育費の未払いを防ぎ、ひとり親家庭の安定した生活とこどもの健やかな成長のため、養育費に関する公正証書の作成費用や養育費保証契約の契約保証料等の一部を助成する。令和7年度からは補助対象に弁護士費用を追加する。			168
				実施	⇒	⇒	

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
65	新規	女性支援団体事業 費補助事業 (家庭児童相談事業) 【子育て世代包括支援センター】	900	困難な問題を抱える女性への支援を実施する市内の団体で、条件に該当するものに対し、シェルターの賃借料などにかかる費用の一部を補助する。			
				実施	⇒	⇒	
66		こども食堂支援事業 (児童館運営一般事業) 【多世代交流プラザ】	1,800	こどもの孤立・孤食を防止し、こどもが安心して過ごせる居場所を提供するため、児童館と連携して実施する「こども食堂」に対し、運営費の一部を補助する。			
				実施	⇒	⇒	



基本施策 13 幼児教育・保育

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
67		私立保育園委託等 事業 (教育・保育事業) 【幼児教育・保育課】	3,562,401	多様化かつ低年齢化している 保育ニーズに対応していくた め、私立保育園が適切に運 営できるよう必要な支援を行 う。			
				実施	⇒	⇒	
68		保育園適正配置・ 整備推進事業 【幼児教育・保育課】	1,936,231	各種関連計画に基づき、老 朽化する公立保育園等の計 画的な建替えや改修を行うと ともに、民間保育園の誘致を 行う。			170
				実施	⇒	⇒	
69		(仮称)第一こども園 施設建設事業 【幼児教育・保育課】	1,219,539	第一幼稚園と大山保育園を 統合し、新たに(仮称)第一こ ども園を建設する。			171
				工事	⇒	供用開始	

(4) 文化・スポーツ 166,612 千円

基本施策 14 スポーツ

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
70		第 20 回アジア競技 大会競技施設改修 事業 【文化・スポーツ課】	166,612	令和 8 年度に開催されるアジア競技大会の会場となる小牧市スポーツ公園総合体育館を国際大会が実施できる環境にするための改修を行う。			174
				工事	大会実施		

(5) 産業・交流 694,050 千円

基本施策 19 シティプロモーション

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
71		米国ワイアンドット市・ グラント郡交流事業 (姉妹都市・友好都 市交流事業) 【シティプロモーション課】	35,170	米国ワイアンドット市及びグラント 郡への中学生派遣及び受入を 行う。			182
				実施	⇒	⇒	

基本施策 20 農業

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
72		(仮称)農業公園整備事業 【農政課】	598,880	食の大切さを理解する場とする とともに、農業振興の発信の場 とするため、(仮称)小牧市農業 公園の整備を行う。			185
				工事	⇒	供用開始	



基本施策 22 歴史・文化財

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
73		(仮称)歴史民俗資料展示施設整備事業 【文化財課】	60,000	小牧山歴史館の展示改装に伴い、新たに郷土の歴史民俗資料等を展示する(仮称)歴史民俗資料展示施設を整備する。			
					整備	供用開始	



(6) 都市基盤・交通 12,320,170 千円

基本施策 23 市街地整備

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
74		土地区画整理事業 関連整備事業 【区画整理課】	3,077,400	区画整理事業を推進するため、 関連する事業区域内外の工事 等を行う。			192
				実施	⇒	⇒	
75		土地区画整理事業 特別会計繰出金 【区画整理課】	3,077,400	文津・岩崎山前・小牧南・本庄 の各特別会計への繰出金			80
				実施	⇒	⇒	



基本施策 24 都市交通

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
76		自動運転実証調査事業 (公共交通利用促進事業) 【都市整備課】	484,124	こまき巡回バス「こまくる」の将来的なサービス水準の維持に向け、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転実証調査を実施する。			194
				実証調査	⇒	⇒	
77		こまき巡回バス「こまくる」運行事業 (こまき巡回バス運行事業) 【都市整備課】	1,201,593	公共交通による市民の移動手段の確保を目的としてこまき巡回バス「こまくる」の運行を継続して行うとともに、令和8年4月に予定している再編運行に向けた準備を行う。			195
				実施	⇒	⇒	



基本施策 25 道路・橋りょう

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
78		道路新設改良事業 【道路課】	808,600	道路の新設改良、舗装新設、側溝新設など幹線道路や生活道路の整備を進める。			197
				実施	⇒	⇒	
79		街路事業 【道路課】	158,000	都市計画道路、主要幹線道路の整備を進める。			197
				実施	⇒	⇒	
80		交通安全施設整備事業 【道路課】	222,800	歩道などの交通安全施設の整備を進める。			
				実施	⇒	⇒	
81		橋りょう新設改良事業 【道路課】	382,000	橋りょうの新設改良を行う。			
				実施	⇒	⇒	

基本施策 26 上下水道

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
82		小牧市下水道事業 会計繰出金《公共 下水道》 【河川課】 【上下水道経営課、 上下水道業務課、 上下水道施設課】	3,333,633	小牧市下水道事業会計《公共 下水道》への繰出金			85
				実施	⇒	⇒	
83		小牧市下水道事業 会計繰出金《農業 集落排水》 【上下水道経営課、 上下水道業務課、 上下水道施設課】	277,921	小牧市下水道事業会計《農業 集落排水》への繰出金			85
				実施	⇒	⇒	

基本施策 27 河川・水路

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
84		河川水路整備事業 【河川課】	289,300	後川や佐久間川などの河川 水路の整備を進める。			201
				実施	⇒	⇒	
85		雨水対策事業 【河川課】	236,000	新川流域水害対策計画に基づ き、雨水貯留施設を整備する。			201
				実施	⇒	⇒	



基本施策 28 公園・緑地・緑道

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
86		公園緑地施設整備 事業 【みどり公園課】	1,461,000	北西部地区公園、区画整理事業区域内の公園整備を進める。			203
				実施	⇒	⇒	
87		境川緑道整備事業 【みどり公園課】	122,000	境川の堤防天端部に散策やジョギングなどに利用できる緑道を整備し、北西部地区公園や学校などの公共施設を有機的につなぎ、水と緑のネットワークで充実させる。			
				実施	⇒		
88		公園緑地施設管理 委託事業《拡充分》 【みどり公園課】	4,677	地域の実情を踏まえた公園管理体制を構築するため、児童遊園の管理を民生委員・児童委員から地元区に変更するとともに、委託料や管理項目の見直しを行う。			
				実施	⇒	⇒	
89	新規	市道犬山公園小牧線 街路樹再生事業 (公園緑地施設改修事業) 【みどり公園課】	85,266	「市道犬山公園小牧線街路樹再生計画」に基づき、老朽化や大径木化した街路樹の植え替えなどを行う。			204
				実施	⇒	⇒	

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
90	新規	市民四季の森イベント開催事業 【みどり公園課】	10,200	令和 7 年度の「バラ・アジサイまつり」第 20 回開催を契機に、好評だった内容を継承しつつ、開催時期を分散させた新たなイベントを開始する。			
					実施	⇒	

基本施策 29 住宅・居住

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
91	充実	空家等対策推進事業 【都市計画課】	38,656	空家等除却工事費補助金については、木造住宅に加え非木造住宅も対象に拡大し、増加する非木造住宅の空き家に対応するとともに、引き続き、セミナーや相談会を開催することで空家等の発生抑制を図る。また、実態に即した対策を進めるため、令和7年度に小牧市空家等対策計画の中間見直しを実施する。			
				実施	⇒	⇒	
92	充実	定住促進事業 【都市計画課】	127,000	令和7年度の住宅の取得、新築等の契約分から新婚世帯にスポットを当てるなど、より実効性の高い制度に変更する。また、市内小売店等の振興に寄与するため、現金給付からこまきプレミアム商品券(贈答用)での給付に変更する。			207
				実施	⇒	⇒	



3. 自治体経営編 887,640 千円

基本施策 30 協働・情報共有

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
93		区長事務デジタル 化推進事業 (区長・区長会活動 支援事業) 【自治会支援室】	10,470	専用アプリを活用し、区長申請 のオンライン化や地域への回覧 物のデータ配信(電子回覧板) などに取り組み、区長事務の軽 減と自治会運営の効率化を進 める。			
				実施	⇒	⇒	
94		高齢者デジタルサポ ート事業 (デジタル推進事業) 【行政改革課】	3,184	デジタルデバйдの解消に向け て、スマホ教室・スマホ相談会 などの取組を実施する。			213
				実施	⇒	⇒	

基本施策 31 行政サービス

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
95	充実	業務効率化ツール 導入事業 (デジタル推進事 業) 【行政改革課】	13,718	オンライン申請システムの機能を 追加し、市民の利便性向上を 図るとともに、業務効率化に資 するノーコードツールを導入す る。			216
				導入	⇒	⇒	



基本施策 32 行政運営

番号	区分	事業名 【担当部署】	R7～9 事業費 (千円)	事業内容			掲載 ページ
				R7	R8	R9	
96	新規	Microsoft365 導入事業 (システム管理事業) 【行政改革課】	352,700	現在利用している Microsoft Office の公式サポート終了に伴い、Microsoft365 を導入し、グループウェアやチャットツールも一体的に利用することで業務効率化を図る。			
				導入	⇒	⇒	
97		基幹系システム標準化対応事業 (システム管理事業) 【行政改革課】 【市民窓口課】	441,830	住民基本台帳、税、福祉など自治体の主要な業務を処理する情報システム(基幹系システム)を、国が策定する標準仕様書に準拠したシステムに移行する。			
				稼働	⇒	⇒	
98	新規	電話交換機クラウド化事業 (庁舎施設管理事業、庁舎施設整備事業) 【資産管理課】	65,738	庁舎の電話交換機の更新にあたり、クラウドシステム及びスマートフォンを導入するとともに、カスタマーハラスメント対策として全通話録音や自動ガイダンスなどの機能を追加する。			219
				導入	⇒	⇒	

第5章 当初予算の概要

第1 当初予算の概要

最近の我が国の経済は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあり、令和7年度には、総合経済対策の効果が下支えとなって、民間需要主導の経済成長となることが期待される。

このような情勢の中、本市の歳入の根幹をなす市税収入は、個人市民税については、個人所得の増加と、令和6年度に実施された定額減税の影響が縮小することにより増収となる見込みであり、固定資産税についても、新增築家屋の建築動向を基に増収と見込んだことなどにより、対前年度比で増収になると見込んでいる。

歳出面においては、増加し続ける社会保障関連経費に加え、人件費や物価の上昇が、委託料を始め様々な経費の上昇圧力となっている。さらには、児童手当の支給対象の拡大など、近年の制度改正や国の政策による支出の増加も、予算総額の増大を招いており、引き続き財源の確保に注力していかなければならない。

こうした財政状況の中においても、安全・安心・快適な市民生活を最優先とし、各分野間の施策のバランスに十分留意しながら、効果的・効率的で持続性が高い自治体経営を着実に推進していく必要がある。

そこで、令和7年度の予算編成においては、市制施行70周年という節目をこまきに関わるすべての人とともにお祝いしつつ、施策全般にわたり各事業の緊急度・重要度を見極めた上で、重要施策については優先的に予算化するように努め、今後、10年先、20年先を見据えた持続可能な市政運営となるよう予算編成を行った。



【戦略1】すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

企業や市民活動団体と連携し、こどもたちがSDGsを楽しく学べる講座「こまきこども未来大学」を開催するとともに、「SDGsこまきカード」を活用して地域課題を考える出前講座を実施することとした。

家庭環境等により学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象とした学習支援事業「駒来塾」は、利用者の増加等に対応するため、新たに南部地区に1教室を開設し、市内5地区で学習支援を実施することとした。

生後1か月頃の乳児を対象に発育状況や栄養状態、身体異常の早期発見等を目的として、健診内容の充実を図り、医療機関との連携を強化することとした。

令和7年12月末にリース期間満了となる児童生徒用タブレットについて、モバイル性に優れ、使い勝手の良いタブレットを選定し、安全で快適なICT教育環境を整備することとした。

米野小学校については、建物の老朽化や児童数の増加に対応するため、改築工事に着手することとした。

児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が特に大きい、篠岡地区、北里地区、巾下地区の3地区において、地区別の学校再編計画と学校施設整備のための基本構想・基本計画の策定を進めることとした。

【戦略2】“健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

令和7年1月にオープンした「ヘルスラボ・こまき」を拠点に、子どもからお年寄りまで、それぞれのライフステージにあった健康づくりやフレイル予防を推進することとした。

スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」を使ったバーチャルウォーキング大会を開催するなど、誰でも気軽に取り組めるウォーキングを推進し、継続した運動習慣の確立を促進することとした。

市民生活の支援と地域経済の活性化のために商工会議所が実施するこまきプレミアム商品券発行事業については、燃料価格や物価の高騰対策のため、プレミアム率を20%、総額14億4,000万円分に対する補助を実施することとした。

【戦略3】「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

中心市街地の活性化を目的に集い・出会った人々が、自ら企画を立ててチャレンジしながら街を元気にしていくプロジェクトである「コマナカ meet」を実施し、市民等と連携・協働しながら中心市街地の活性化を図ることとした。

民間活力を導入し整備している小牧山東公園「こまき山イーストパーク」については、令和7年6月頃の供用開始に向けて公園整備を進めることとした。

史跡小牧山については、大手道の発掘調査を進めるとともに、主郭地区のうち歴史館の南東側で織田信長が築いた石垣等の復元整備を実施することとした。

東部振興構想の実現に向け、これまでのトライアル活動に対する支援に加え、新たに開始した事業者等からまちづくり活動への支援制度により、東部地域の活性化を図ることとした。

小牧市企業新展開支援プログラムに基づき、研修対象機関を拡充して人材育成研修にかかる費用に対する補助を実施することとした。

(1)安全・環境

消防団の第2分団車庫を、出動に安全でかつ、十分な敷地を確保できる大字西之島地内へ移転整備することとした。

カーボンニュートラルの実現に向けて、保育園の照明設備をLED照明に更新することとした。また、再生可能エネルギーの導入を一層促進するために、一体的導入を進めている住宅用太陽光発電設備(太陽光パネル)の補助対象の要件について最大出

力 10kW 未満から最大出力 50kW 未満へ拡充することとした。

(2)健康・福祉

带状疱疹の予防接種については、現在実施している50歳以上の方の費用助成に加え、65歳での定期接種を実施することで発症を予防し、健康の保持と増進を図ることとした。

言語理解や運動能力が向上し社会性が発達してくる5歳児に対して、成長・発達等を保護者と確認し、特性に合わせた適切な支援が受けられるよう健康診査を実施することとした。

乳幼児健康診査で電子カルテを導入するとともに、オンラインで健診日の予約や変更・問診票への入力が可能なシステムを構築することで受診者の利便性の向上を図ることとした。

これまでの一般不妊治療・不育症治療の助成に加え、体外受精、顕微授精など生殖補助医療に要する費用も助成することとした。

(3)教育・子育て

小中学校の体育館について、夏季の熱中症対策として、リース方式で空調機を設置することとした。

出合いの場の提供や結婚にかかる経済的支援に取り組むため、婚活イベントや結婚相談、ライフイベントについて考えるセミナーを開催するとともに、新婚世帯を対象に引っ越し費用や家賃の一部を補助することとした。

米野小学校の改築工事に伴い、米野児童クラブ棟が取り壊しとなるため、米野小学校プレハブ校舎に開設場所を移転し、児童クラブの運営に必要な整備を行うこととした。

増大する保育需要に対応するため、古雅保育園の大規模改修、第二保育園の改築、小規模保育事業所3施設の整備、私立保育園1園の整備を進めることとした。



第一幼稚園と大山保育園を統合して整備する(仮称)第一こども園については、第一幼稚園の解体工事と(仮称)第一こども園の建築工事を実施することとした。

(4)文化・スポーツ

令和8年度開催のアジア競技大会の会場となる小牧市スポーツ公園総合体育館を国際大会に対応した施設とするためのバリアフリー化工事等の改修工事を行うこととした。

(5)産業・交流

米国ワイアンドット市及びグラント郡との友好を深め、将来にわたって共に発展していくことを目指し、市内在住の中学生をグラント郡に派遣するとともにワイアンドット市の中学生を受け入れ、交流を図ることとした。

(仮称)小牧市農業公園については、市民菜園や体験農園などの整備を進めるとともに建築工事の実施設計等を行うこととした。

(6)都市基盤・交通

市民の日常生活の足を支えているこまき巡回バス「こまくる」の将来的なサービス水準維持に向け、自動運転の検証を進めることとした。また、こまき巡回バス「こまくる」の再編運行(令和8年4月予定)に向け、運行事業者の選定などの準備を進めることとした。

巾下地区に整備を進めている北西部地区公園について、令和6年度に引き続き用地取得を進めるとともに、道水路工事等を行うこととした。

市道犬山公園小牧線において、老朽化や大径木化が進んだ街路樹について、計画的に植え替え更新を行うことで、歩行者等の安全を確保しながら、良好な街並み景観を形成することとした。

若年層の定住及び中古住宅の利活用の促進とあわせ、こまき



プレミアム商品券の給付による市内小売店等の振興にも寄与する新たな定住促進支援制度を開始することとした。

自治体経営

社会全体のデジタル化が進む中、高齢者をはじめとした誰もがデジタルを活用することができるよう、スマートフォンの操作に不安がある市民を対象に、基本的な操作方法の習得やマイナンバーカード(マイナポータルへのログイン)・市の公式LINEの活用などを目的としたスマホ教室等を実施することとした。

オンライン申請システムについて、市民の利便性向上のため、マイページ機能やキャッシュレス決済機能を追加することとした。

現在、庁舎内に設置されている電話交換機をクラウドシステムに更新し、電話機をスマートフォンに変更するとともに、カスタマーハラスメント対策となる全通話録音機能や自動ガイダンス機能などを追加することとした。

市制70周年記念事業

市民会館で5月に市制施行70周年をこまきに関わるすべての人と祝う記念式典を開催することとした。

日本将棋連盟の八大タイトルの1つで、全国的にも注目度の高い第66期王位戦第1局を誘致し、あわせて「こまき勝負おやつコンテスト」を実施することとした。

次代を担う高校生等を対象として、起業家精神を養う探求学習プログラムを実施することとした。

中学生が市議会のこども議員となり、議場で市政への質問や提案を行うこども議会を開催することとした。

小牧市民まつり等の各種イベントにおいては、市制70周年を記念し、多くの市民の皆様楽しんでいただける企画を展開することとした。



第2 当初予算の規模

1 全会計予算規模

令和7年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計の合計で1,371億5,235万円となり、前年度当初予算額1,306億3,411万円に比べて65億1,824万円(5.0%)の増額となった。

2 一般会計予算

(1) 予算規模

予算の規模は、703億5,600万円で前年度当初予算額624億4,000万円に比べて79億1,600万円(12.7%)の増額となった。

(2) 歳入

市税収入は、経済情勢等を勘案して、対前年度当初比4.7%増の340億1,002万円を見込んだ。

地方譲与税は、地方財政計画の状況などを勘案して、対前年度当初比7.3%減の3億8,927万円を見込んだ。

利子割交付金は、愛知県の利子割収入金の状況などを勘案して、対前年度当初比60.0%増の1,600万円を見込んだ。

配当割交付金は、愛知県の配当割収入金の状況などを勘案して、対前年度当初比14.7%増の2億1,800万円を見込んだ。

株式等譲渡所得割交付金は、愛知県の株式等譲渡所得割収入金の状況などを勘案して、対前年度当初比27.8%増の1億9,300万円を見込んだ。

法人事業税交付金は、愛知県の法人事業税収入金の状況などを勘案して、対前年度当初比2.5%減の8億1,200万円を見込んだ。

地方消費税交付金は、愛知県の地方消費税収入金の状



況などを勘案して、対前年度当初比 13.7%増の 45 億 1,000 万円を見込んだ。

環境性能割交付金は、愛知県の環境性能割収入金の状況などを勘案して、対前年度当初比 14.2%減の 1 億 3,300 万円を見込んだ。

地方特例交付金は、地方財政計画の状況などを勘案して、対前年度当初比 80.5%減の 1 億 7,769 万円を見込んだ。

地方交付税は、特別交付税のみとし、過去の実績などを勘案して、対前年度当初比 10.0%増の 6,600 万円を見込んだ。

分担金及び負担金は、対前年度当初比 7.6%増の 5,289 万円を見込んだ。

使用料及び手数料は、対前年度当初比 1.5%増の 5 億 9,581 万円を見込んだ。

国庫支出金は、対前年度当初比 47.6%増の 119 億 1,412 万円を見込んだ。

県支出金は、対前年度当初比 13.1%増の 46 億 9,509 万円を見込んだ。

財産収入は、対前年度当初比 2.7%減の 1 億 1,328 万円を見込んだ。

寄附金は、こまき応援寄附金の実績などを勘案して、対前年度当初比 82.9%増の 21 億 9,500 万円を見込んだ。

繰入金は、対前年度当初比 10.7%減の 39 億 7,640 万円を見込んだ。

繰越金は、前年度当初と同額の 10 億円を見込んだ。

諸収入は、対前年度当初比 55.5%増の 26 億 7,603 万円を見込んだ。

市債は、対前年度当初比 38.2%増の 25 億 4,070 万円を見込



んだ。

性質別に見た歳入の財源区分構成比は、自主・依存財源区分では、自主財源は 63.4%(前年度当初 66.6%)、依存財源は 36.6%(同 33.4%)となった。

一般・特定財源区分では、一般財源は 59.7%(前年度当初 66.1%)、特定財源は 40.3%(同 33.9%)となった。

(3) 歳 出

歳出額の大きい目的別費目は、民生費の 301 億 3,802 万円、教育費の 104 億 5,433 万円、土木費の 82 億 1,872 万円、総務費の 71 億 532 万円、衛生費の 66 億 3,094 万円の順である。

それぞれの全体額に対する構成比は、民生費が 42.8%、教育費が 14.9%、土木費が 11.7%、総務費が 10.1%、衛生費が 9.4%、である。

前年度に比べて増加額が大きいものは、民生費の 40 億 6,838 万円、消防費の 8 億 7,231 万円、教育費の 8 億 4,090 万円などである。

前年度に比べて減少額が大きいものは、公債費の 1 億 2,066 万円、議会費の 1,353 万円、農林費の 559 万円である。

一方、歳出額の性質別費目では、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が 30 億 4,300 万円(11.0%)増の 307 億 2,510 万円、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧費)が 29 億 8,347 万円(55.3%)増の 83 億 7,822 万円、その他の経費が 18 億 8,953 万円(6.4%)増の 312 億 5,268 万円である。

それぞれの全体額に対する構成比は、義務的経費が 43.7%、投資的経費が 11.9%、その他の経費が 44.4%である。



3 特別会計及び企業会計

8 特別会計全体の予算額は、282 億 4,778 万円で、対前年度当初比 1.2%(3 億 5,515 万円)の減となった。

企業会計においては、病院事業は 5 億 2,397 万円(1.8%)減の 291 億 1,296 万円、水道事業は 3 億 9,344 万円(8.0%)減の 45 億 594 万円、下水道事業は 1 億 2,521 万円(2.5%)減の 49 億 2,967 万円で、あわせて 385 億 4,857 万円で、対前年度当初比 2.6%(10 億 4,261 万円)の減となった。



令和7年度 当初予算会計別総括表

会 計 名			令和7年度 当初予算額 (A) 千円	令和6年度 当初予算額 (B) 千円	比 較 増 減	
					(C)=(A)-(B) 千円	伸 率 (C)/(B) %
一 般 会 計			70,356,000	62,440,000	7,916,000	12.7
特 別 会 計	土 地 取 得		3,443	260	3,183	1,224.2
	国民健康保険事業		12,474,988	13,349,149	△874,161	△6.5
	土地 地区 画 整 理 事 業	文 津	437,483	401,607	35,876	8.9
		岩 崎 山 前	202,960	297,092	△94,132	△31.7
		小 牧 南	645,595	559,234	86,361	15.4
		本 庄	153,200	112,522	40,678	36.2
		小 計	1,439,238	1,370,455	68,783	5.0
		介 護 保 険 事 業		9,566,688	9,326,143	240,545
	後 期 高 齢 者 医 療		4,763,426	4,556,923	206,503	4.5
	小 計		28,247,783	28,602,930	△355,147	△1.2
企 業 会 計	病院 事業	収益の支出	26,911,014	27,213,428	△302,414	△1.1
		資本の支出	2,201,949	2,423,501	△221,552	△9.1
		病 院 計	29,112,963	29,636,929	△523,966	△1.8
	水道 事業	収益の支出	3,008,811	2,959,722	49,089	1.7
		資本の支出	1,497,128	1,939,653	△442,525	△22.8
		水 道 計	4,505,939	4,899,375	△393,436	△8.0
	下 水 道 事 業	収益の支出	3,099,979	3,049,525	50,454	1.7
		資本の支出	1,829,689	2,005,353	△175,664	△8.8
		下 水 道 計	4,929,668	5,054,878	△125,210	△2.5
	小 計		38,548,570	39,591,182	△1,042,612	△2.6
合 計			137,152,353	130,634,112	6,518,241	5.0



令和7年度 一般会計当初予算の概要

区 分 \ 年 度	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		令 和 5 年 度	
	当初予算額	対前年度伸率	当初予算額	対前年度伸率	当初予算額	対前年度伸率
総 額	千円 70,356,000	% 12.7	千円 62,440,000	% 3.4	千円 60,379,000	% 3.3
市 税	34,010,020	4.7	32,481,020	△3.0	33,495,020	4.6
投資的経費	8,378,221	55.3	5,394,748	5.5	5,112,880	△6.2
人 件 費	11,331,914	0.8	11,245,139	10.1	10,212,299	0.2
自主財源と その比率	(63.4%) 44,619,425	7.2	(66.6%) 41,607,391	△0.2	(69.0%) 41,674,770	2.3
依存財源と その比率	(36.6%) 25,736,575	23.5	(33.4%) 20,832,609	11.4	(31.0%) 18,704,230	5.4
一般財源と その比率	(59.7%) 41,988,273	1.7	(66.1%) 41,274,878	0.9	(67.7%) 40,895,701	5.1
特定財源と その比率	(40.3%) 28,367,727	34.0	(33.9%) 21,165,122	8.6	(32.3%) 19,483,299	△0.3
予算額に占める 人件費の比率	16.1%		18.0%		16.9%	
市税に占める 人件費の比率	33.3%		34.6%		30.5%	
予算額に占める 投資的経費の比率	11.9%		8.6%		8.5%	
予算額に占める 市税の比率	48.3%		52.0%		55.5%	

(注) 自主財源・一般財源等の()は構成比を表します。

令和7年度 一般会計当初予算款別表

1 歳 入

区 分	令和7年度		令和6年度		比 較 増 減	
	当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比	(C)=(A)-(B)	伸 率 (C)/(B)
	千円	%	千円	%	千円	%
1 市 税	34,010,020	48.3	32,481,020	52.0	1,529,000	4.7
2 地 方 譲 与 税	389,267	0.6	419,773	0.7	△30,506	△7.3
3 利子割交付金	16,000	0.0	10,000	0.0	6,000	60.0
4 配当割交付金	218,000	0.3	190,000	0.3	28,000	14.7
5 株式等譲渡所 得割交付金	193,000	0.3	151,000	0.2	42,000	27.8
6 法 人 事 業 税 交 付 金	812,000	1.2	833,000	1.3	△21,000	△2.5
7 地 方 消 費 税 交 付 金	4,510,000	6.4	3,965,000	6.4	545,000	13.7
8 ゴルフ場利用 税 交 付 金	4,700	0.0	7,000	0.0	△2,300	△32.9
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
10 環 境 性 能 割 交 付 金	133,000	0.2	155,000	0.3	△22,000	△14.2
11 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	43,000	0.1	43,305	0.1	△305	△0.7
12 地 方 特 例 交 付 金	177,693	0.3	911,807	1.5	△734,114	△80.5
13 地 方 交 付 税	66,000	0.1	60,000	0.1	6,000	10.0
14 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	24,000	0.0	24,000	0.0	0	0.0
15 分 担 金 及 び 負 担 金	52,887	0.1	49,150	0.1	3,737	7.6
16 使 用 料 及 び 手 数 料	595,805	0.8	587,108	0.9	8,697	1.5
17 国 庫 支 出 金	11,914,122	16.9	8,073,272	12.9	3,840,850	47.6
18 県 支 出 金	4,695,092	6.7	4,151,051	6.7	544,041	13.1
19 財 産 収 入	113,282	0.2	116,367	0.2	△3,085	△2.7
20 寄 附 金	2,195,000	3.1	1,200,000	1.9	995,000	82.9
21 繰 入 金	3,976,398	5.6	4,452,791	7.1	△476,393	△10.7
22 繰 越 金	1,000,000	1.4	1,000,000	1.6	0	0.0
23 諸 収 入	2,676,033	3.8	1,720,955	2.8	955,078	55.5
24 市 債	2,540,700	3.6	1,838,400	2.9	702,300	38.2
合 計	70,356,000	100.0	62,440,000	100.0	7,916,000	12.7



2 歳 出

区 分	令和7年度		令和6年度		比 較 増 減	
	当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比	(C)=(A)-(B)	伸 率 (C)/(B)
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議 会 費	361,589	0.5	375,116	0.6	△13,527	△3.6
2 総 務 費	7,105,316	10.1	6,432,760	10.3	672,556	10.5
3 民 生 費	30,138,017	42.8	26,069,642	41.8	4,068,375	15.6
4 衛 生 費	6,630,938	9.4	6,507,594	10.4	123,344	1.9
5 労 働 費	177,953	0.3	159,349	0.3	18,604	11.7
6 農 林 費	437,766	0.6	443,357	0.7	△5,591	△1.3
7 商 工 費	2,978,064	4.2	2,221,608	3.6	756,456	34.0
8 土 木 費	8,218,724	11.7	7,515,489	12.0	703,235	9.4
9 消 防 費	3,013,568	4.3	2,141,258	3.4	872,310	40.7
10 教 育 費	10,454,332	14.9	9,613,436	15.4	840,896	8.7
11 災 害 復 旧 費	15,300	0.0	15,300	0.0	0	0.0
12 公 債 費	774,433	1.1	895,091	1.4	△120,658	△13.5
13 予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
合 計	70,356,000	100.0	62,440,000	100.0	7,916,000	12.7

令和7年度 一般会計当初予算性質別分類表

歳 出

区 分		令和7年度		令和6年度		比 較 増 減	
		当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比	(C)=(A)-(B)	伸 率 (C)/(B)
義務的 経費	人 件 費	千円 11,331,914	% 16.1	千円 11,245,139	% 18.0	千円 86,775	% 0.8
	扶 助 費	18,618,748	26.5	15,541,867	24.9	3,076,881	19.8
	公 債 費	774,433	1.1	895,091	1.4	△120,658	△13.5
	小 計	30,725,095	43.7	27,682,097	44.3	3,042,998	11.0
投資的 経費	普通建設事業費	8,362,921	11.9	5,379,448	8.7	2,983,473	55.5
	補助事業費	2,114,976	3.0	705,456	1.2	1,409,520	199.8
	単独事業費	6,247,945	8.9	4,673,992	7.5	1,573,953	33.7
	災害復旧費	15,300	0.0	15,300	0.0	0	0.0
	単独事業費	15,300	0.0	15,300	0.0	0	0.0
	小 計	8,378,221	11.9	5,394,748	8.7	2,983,473	55.3
その他の 経費	物 件 費	14,553,613	20.7	13,231,267	21.2	1,322,346	10.0
	維持補修費	1,207,761	1.7	1,171,156	1.9	36,605	3.1
	補助費等	7,509,807	10.7	7,370,179	11.8	139,628	1.9
	積立金	1,204,648	1.7	708,165	1.1	496,483	70.1
	投資及び 出資金・貸付金	1,028,233	1.4	1,104,814	1.7	△76,581	△6.9
	繰 出 金	5,698,622	8.1	5,727,574	9.2	△28,952	△0.5
	予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
	小 計	31,252,684	44.4	29,363,155	47.0	1,889,529	6.4
合 計		70,356,000	100.0	62,440,000	100.0	7,916,000	12.7



令和7年度 地方消費税交付金(社会保障財源化分)の概要

平成26年4月1日より5%から8%へ、令和元年10月1日より8%から10%へ消費税率が引き上げられたことに伴い、地方消費税率も1.0%から2.2%に引き上げられております。その地方消費税率引上げに伴う増収分については、用途を明確化し、社会保障施策経費に充てることとされています。

令和7年度小牧市一般会計予算における社会保障施策経費への充当状況は以下のとおりです。

【歳入】

地方消費税交付金	4,510,000千円
うち社会保障財源化分	2,460,000千円

【歳出】

地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる	
社会保障施策経費の総額	31,715,742千円

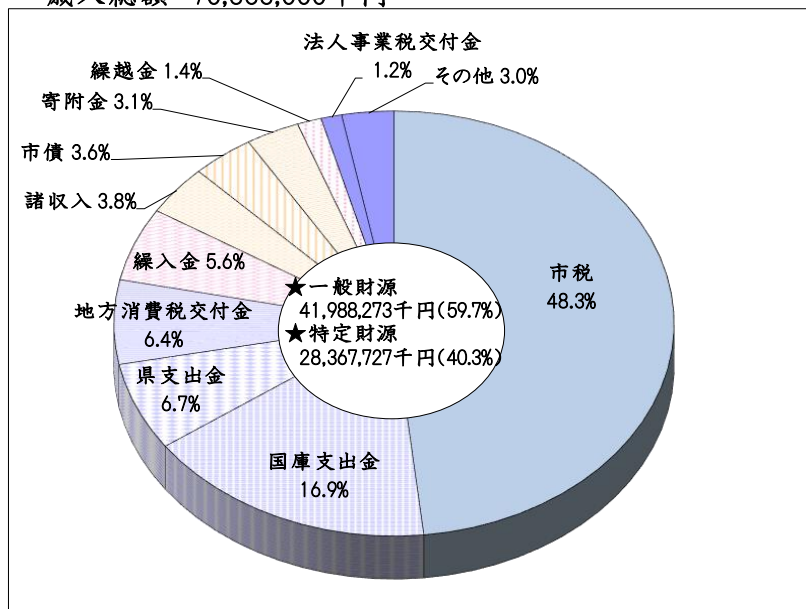
地方消費税交付金(社会保障財源化分)の充当 (単位:千円)

事業名		予算額	一般財源	地方消費税充当額
社会福祉	障害者福祉事業	7,250,964	2,810,258	402,465
	高齢者福祉事業	969,065	678,331	97,145
	児童福祉事業	11,705,637	5,502,356	788,008
	母子福祉事業	729,424	482,009	69,030
	生活保護扶助事業	2,417,157	570,715	81,734
	その他	224,894	174,565	25,000
	小 計	23,297,141	10,218,234	1,463,382
社会保険	国民健康保険事業	1,432,322	991,887	142,051
	介護保険事業	1,688,465	1,427,299	204,408
	後期高齢者医療事業	1,975,153	1,661,998	238,019
	小 計	5,095,940	4,081,184	584,478
保健衛生	病院事業	1,600,000	1,600,000	229,141
	疾病予防事業	1,722,661	1,277,813	182,999
	小 計	3,322,661	2,877,813	412,140
合 計		31,715,742	17,177,231	2,460,000

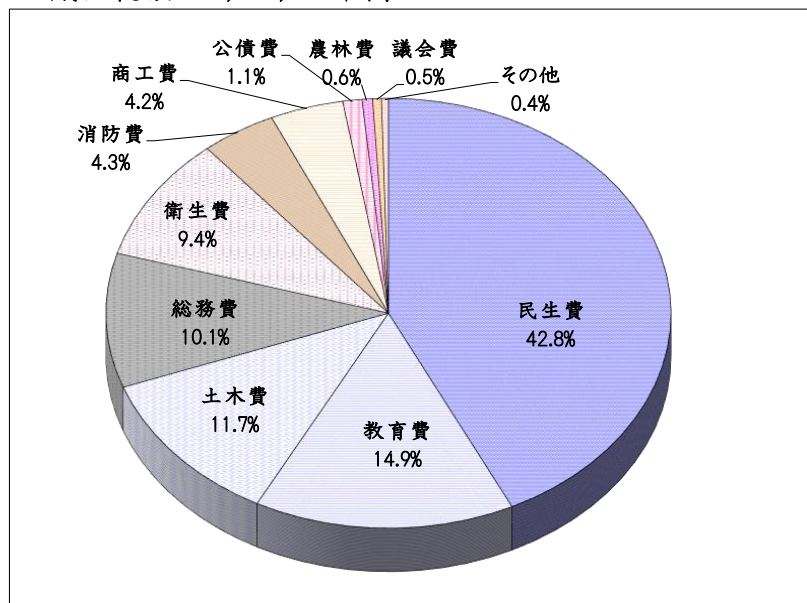
※社会保障財源化分は、令和7年度地方消費税交付金予算額の12/22に相当する額としている。

令和7年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 70,356,000千円



歳出総額 70,356,000千円





市制 70 周年記念事業

市長公室 秘書政策課

1 予 算 額 9,250千円 ※

2 目的及び効果 令和7年に市制施行70周年を迎え、この節目の年をこまきに関わるすべての人と祝い、今のこまきの礎を築き発展させてきた先人たちの功績に感謝するとともに、行政だけでなく、市民、各団体、企業等が主体的に参加することができる事業を実施することで、こまきへの愛着と誇りを深めるとともに、きらめく未来に向けて人と挑戦のつながりを強める機会とします。

3 事業概要

- (1)式典事業 市制施行70周年をこまきに関わるすべての人で祝う記念式典を開催します。
- (2)プロジェクト70 市制70周年記念事業にふさわしい市が主催、共催する事業です。
- (3)市民企画事業 市制70周年記念事業として市民、団体、学校、企業等が主体的に企画・実施する事業です。(事業経費を一部補助)
- (4)PR 事業 70周年の機運醸成、周知啓発のための事業や、既存事業に「小牧市制70周年記念」等の冠及び70周年記念ロゴマークを付して実施する事業です。

※予算額は、市制70周年記念事業のうち次頁に掲載した事業の合計となります。



式典事業

○小牧市制 70 周年記念式典 2,695千円(秘書政策課)

5月18日(日)に市民会館において、市制70周年の記念すべき節目をお祝いします。市民参加をテーマとし、市内小中学生の希望者が受付・司会のお手伝いや、合唱に参加します。

また、市制 50 周年の「環境都市宣言」に、カーボンニュートラルや循環型社会など時代に応じた内容を加え、市民とともに改めて宣言します。



プロジェクト70の主な事業

○王位戦の誘致 3,500千円(秘書政策課)

日本将棋連盟の八大タイトルの1つで、全国的にも注目度の高い第66期王位戦第1局を誘致します。

○学生の探究学習プログラム 2,200千円(商工振興課)

次代を担う高校生等を対象として、起業家精神を養う探究学習プログラムを実施します。

○こども議会 855千円(学校教育課)

中学生が市議会のこども議員となり、市の概要や議会の仕組みを学ぶとともに、議場で市政への質問や提案を行います。



特別会計

土地取得

建設部 用地課

1 予算額 3,443千円

2 目的 土地取得会計は、土地開発基金の運用収益に係る歳入歳出のほか、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を先行取得する事業に係る歳入歳出を経理しています。

3 事業概要 ・土地管理事業
・土地開発基金積立事業

○土地開発基金の状況(令和6年3月31日現在)

運用状況	土地取得会計	310,818,065円
	土地開発公社	1,511,000,000円
運用残額	2,703,774,054円	
基金総額	4,525,592,119円	

土地取得会計管理地
(野口 地内)



国民健康保険事業

福祉部 保険医療課

1 予算額 12,474,988千円

2 目的及び効果 国民健康保険制度は、75歳未満の被用者保険加入者以外の住民を被保険者とし、国民皆保険制度の基盤として社会保障及び住民保健の向上に寄与することを目的としています。

※被保険者数23,597名(令和6年12月末現在)

3 事業概要

(1) 保険給付(主なもの)

- ・療養の給付(診察、処置、手術などの治療又は薬剤)
- ・高額療養費(自己負担限度額を超えた場合)の支給
- ・出産育児一時金及び葬祭費の支給

(2) 保健事業

- ・特定健康診査・特定保健指導の実施
- ・健診結果による医療受診勧奨
- ・糖尿病性腎症重症化予防の実施

(3) 医療費適正化対策

- ・ジェネリック医薬品の利用促進及び差額通知の送付
- ・レセプト点検等(柔整・はり灸含む)の実施
- ・医療費通知の送付



土地区画整理事業

都市政策部 区画整理課

土地区画整理事業は、道路や公園等の整備と宅地の利用増進を図る面的整備事業であり、現在までに市施行9地区(約428ha)、組合施行8地区(約85ha)計17地区(約513ha)がすでに施行済みです。また現在、市施行にて次の4地区(約219ha)を施行しています。

地区名	文津	岩崎山前	小牧南	本庄
予算額	437,483千円	202,960千円	645,595千円	153,200千円
事業年度	平成10年度～ 令和12年度	平成4年度～ 令和8年度	平成6年度～ 令和11年度	令和3年度～ 令和17年度
施行面積	37.6ha	62.2ha	94.0ha	25.4ha
総事業費	14,500,000千円	15,800,000千円	32,800,000千円	10,100,000千円
道路整備率	84.2%	94.3%	89.9%	—

注)道路整備率

$$= \frac{\text{地区内道路整備済延長}}{\text{地区内道路整備計画延長}} \times 100$$

(令和6年度末見込み)



← 施行中の土地区画整理事業の詳細はこちらからご覧になれます。



介護保険事業

1 事業年度 平成12年度～

2 予算額 9,566,688千円

福祉部 介護保険課
地域包括ケア推進課
健康生きがい支え合い推進部
健康生きがい推進課
保健センター

3 目的及び効果 介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合うための制度です。介護や支援が必要な方の自立と尊厳が保たれた生活を支え続けられるよう、介護保険制度を健全に運営します。

4 事業概要

○介護保険事務

- ・介護保険料の賦課徴収
- ・保険給付費の給付
- ・要介護(要支援)認定に係る調査及び認定
- ・介護事業所の指定、指導

○地域支援事業

- ・介護予防・生活支援サービス事業
- ・一般介護予防事業
- ・在宅医療・介護連携の推進
- ・生活支援体制の整備
- ・認知症総合支援体制の整備
- ・介護サービス相談員の派遣
- ・高齢者世話付住宅生活援助員派遣



介護保険の被保険者

第1号被保険者 65歳以上の方

令和6年12月末現在 38,271人

第2号被保険者 40歳以上65歳未満の医療保険加入者

後期高齢者医療

福祉部 保険医療課

1 事業年度 平成20年度～

2 予算額 4,763,426千円

3 目的及び効果 後期高齢者医療制度は、75歳(一定の障がいのある人は65歳)以上の方が加入する医療保険制度で、高齢期における適切な医療の確保を図ることを目的としています。被保険者になると保険証等が交付され、負担割合に応じて療養の給付や高額療養費の支給などを受けることができます。

※被保険者数22,643名(令和6年12月末現在)

4 事業概要 愛知県後期高齢者医療広域連合が保険者として運営を行い、被保険者の認定、保険料の決定、医療の給付などを行います。

市は窓口業務、保険料の徴収などを行います。

- 後期高齢者医療広域連合の行う主な事務
 - ・被保険者の加入・脱退や資格確認書等の交付
 - ・保険料の決定
 - ・医療を受けたときの給付
- 市が行う主な事務
 - ・申請や届出の受付
 - ・保険料の徴収
 - ・資格確認書等の引き渡し
 - ・制度に関する広報及び窓口相談



企業会計

病院事業

小牧市民病院事務局 病院総務課
管財課
医事課

1 予算額 29,112,963千円

2 目的及び効果 尾張北部医療圏の中核病院として、救急医療やがん診療、高次医療など、より一層安全で良質な医療を継続的に提供します。

3 事業概要

(1)病床数 520床

(2)年間患者数 入院 160,000人
外来 275,500人

(3)主要な建設改良事業

○医療器械器具購入事業

マルチスライス CT スキャナ装置、多項目自動血球分析装置などの医療器械器具購入



水道事業

上下水道部 上下水道経営課
上下水道業務課
上下水道施設課

1 予算額 4,505,939千円

(内 建設改良費 1,257,935千円)

2 目的 安全な水道水を、安定して供給します。

3 事業概要 給水戸数 71,000戸

年間総給水量 19,800,000m³

送水管整備事業(岩崎原三丁目外)

送水管布設延長 約330m

配水管改良事業(小牧一丁目外)

配水管布設延長 約2,800m

災害に強い水道にするため、送水管路の整備及び老朽管路の更新による耐震化を進めます。

安全な水道水を安定的にお届けするために



令和6年度実施 市道小松寺一丁目18号線外 φ500mm送水管布設工事



下水道事業

上下水道部	上下水道経営課
	上下水道業務課
	上下水道施設課
建設部	河川課

1 予 算 額 4,929,668千円

(内 建設改良費 1,256,325千円)

2 目 的 下水道を整備することによりまちを清潔にし、市民の生活環境と公共用水域の水質保全の向上及び、都市浸水被害の軽減を図ります。

3 事業概要

(1) 接続戸数 52,300戸

(2) 年間総排水量 16,520,000m³

(3) 主要な建設改良事業

○污水管渠整備事業

市街化区域を中心に、処理区域の拡大を進めます。

(令和7年度供用開始面積:約12ヘクタール)

○雨水施設整備事業

下小針雨水幹線等の整備により都市浸水被害の軽減を図ります。

○農業集落排水施設整備事業

大草地区において、処理施設等の適正な維持管理により良好な水質を確保します。

下水道事業は、今後も人口減少等による使用料収入の減少及び老朽化等による維持管理費用の増加が見込まれることから、上下水道事業経営審議会において審議を行い、出された答申を踏まえ、令和7年10月より下水道使用料を改定します。

(関連条例：令和7年小牧市議会第Ⅰ回定例会提出)

第 II 部

市政戰略編

戦略1 すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

本市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるため、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、夢へのチャレンジをまち全体で応援できる環境を構築するとともに、来るべき未来社会を見据え、こどもたちが社会の変化とともに自らを成長させ続け、生き抜いていける確かな力を身につけるための環境を整備します。

＜重点事業1-1 こどもたちの夢への挑戦を応援＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
こまきこども未来大学の受講者数	139人	178人				190人	240人
駒来塾の参加者数	74人	100人				100人	120人

＜重点事業1-2 子育て家庭への支援を強化＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
子育て世代包括支援センターや各児童館(子育て支援室)での相談件数	7,976件	8,205件				8,500件	9,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.5%	95.9%				100%	100%

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

＜重点事業1－3 未来を見据えた教育環境の整備＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	82.2%	—				85.0%	87.0%
新たな学校づくり推進計画の策定	設定なし	策定中				策定	設定なし

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



こまきこども未来大学開催事業

市長公室 秘書政策課

1 予 算 額 5,295千円

2 目的及び効果 企業や市民活動団体と連携することで、SDGsの達成に向けた取組を進めます。

3 事業概要

○ こまきこども未来大学の開催

企業や市民活動団体との連携により、こどもたちがSDGsを楽しく学べる講座「こまきこども未来大学」を開催します。

○ SDGsデジタルパネル展の開催

これまでの10年間における小牧市のSDGsの取組を紹介する映像を制作し、市制70周年記念式典の会場でデジタルパネル展を開催します。

○ SDGsこまきカードを活用した地域課題を考える出前講座の実施

小牧市に関するデータをクイズにしたコミュニケーションツールである「SDGsこまきカード」を活用して、小牧市の地域課題を知り、グループで楽しく考える出前講座を実施します。



充実

こども夢・チャレンジ推進事業

こども未来部 こども政策課
教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 35,243千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 1,068千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。(市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】 上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらう契機とします。

【対象】 市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

○大学生等海外留学奨学金支給事業 3,700千円(こども政策課)

海外の大学等に、3か月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12か月を上限として、月額4～5万円を支給。



○ **充実** 学習支援事業「駒来塾」 5,765千円(こども政策課)

家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中)

新規 南部地区(応時中)

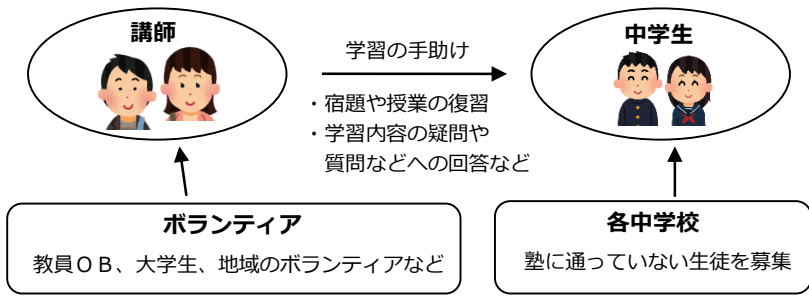
【開催日】 毎週木曜日(南部地区以外) 午後6時30分～8時
毎週水曜日(南部地区)

【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、
味岡市民センター、中部公民館、ふらっとみなみ

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○**新規**高校生等社会参画事業 780千円(こども政策課)

高校生等が身近な課題や関心事について自らプロジェクトを立ち上げ、課題解決を目指した取り組みを発表することで、意見表明や社会参画を通して地域や社会に主体的に関わる意識を育みます。

【対 象】 主に市内在住、在学の高校生等

【活動拠点】 こまきこども未来館

○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 5,930千円

(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、小学5年生を対象に「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを伝え、こどもたちの精神的な成長を図ります。

○**充実**特色ある学校づくり推進事業 18,000千円(学校教育課)

教科横断的な視点に立ったカリキュラム編成により従来の総合的な学習を一層充実させ、こまき「夢☆チャレンジ」科として「こども夢・チャレンジNo.1都市」の基本理念に則った、より発展的で持続可能な「探究的な学び」を推進します。



高校・大学等進学支援事業

福 祉 部 福祉総務課
教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額 13,200千円

2 目的及び効果 進学する向上心に富みながらも、経済的に困難な状況にある学生・生徒の進学を支援します。

3 事業概要

○大学等進学応援交付金支給事業 2,040千円(福祉総務課)

親からの援助を受けることが困難な状況にありながら、大学等に進学した学生等に対し応援交付金を支給します。

【対 象】児童福祉施設等に入所措置されている大学生等及び
進学を理由に生活保護世帯から世帯分離された大学生等

【助成額】年間12万円

○奨学交付金交付事業 12,000千円(学校教育課)

経済的に恵まれない生徒が高等学校等へ進学する場合に、
入学準備金を交付します。

【対 象】小牧市の中学校を卒業し、高等学校等へ進学する
向上心に富み、経済的に恵まれない生徒

【助成額】12万円



こまきこども未来館運営事業

こども未来部 多世代交流プラザ

1 予 算 額 139,638千円

2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、子ども達にこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧の子ども達やまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。

3 事業概要

(1)こども未来館受付業務及び講座開催委託

地域のサポーターや企業、大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じて子ども達自身の学びにつなげられる講座を開催するとともに、ものづくりに携わる人材を育成する「少年少女発明クラブ」を実施します。

(2)こまき巡回バス運賃負担

市内全域の児童が気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまくる」を利用した際の児童の運賃を市が負担します。



保育料無償化拡充事業

こども未来部 幼児教育・保育課

- 1 予 算 額 91,565千円
 (歳入影響額 △177,147千円)
- 2 目的及び効果 人口減少及び少子化が進展している状況の中、物価高騰などの影響により、負担が増加している子育て世代の負担軽減、より手厚い子育て支援を行うため、保育園等を利用する児童の保育料の無償化を市独自に拡充します。
- これにより、「子育てしやすいまち」、「子育て支援が充実しているまち」を市民に実感していただき、いつまでも「住みたい」、「住み続けたい」と思えるまちづくりの実現を推進します。

3 事業概要

令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、市独自の少子化対策の拡充として、市内の保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(20園)に通う、0歳児から2歳児までの園児の保護者負担金(保育料)を所得、児童の出生順位に関わらず、無償とします。



給食費負担軽減事業

教育委員会事務局 学校給食課

1 予算額 1,858千円
(歳入影響額 △156,773千円)

2 目的及び効果 多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図ることにより、子育て支援をより一層強化し、「子育てしやすいまち」として、「こども夢・チャレンジ No.1都市宣言」の達成を目指します。

3 事業概要

同一生計でこどもを2人以上扶養している保護者に対して、市立小中学校に通う第2子中学生・第3子以降小中学生の給食費を無償化します。



○無償化となる条件

1. 同一生計で扶養している2番目のこどもが中学生、3番目以降が小中学生であること。
2. 保護者及び対象となるこどもが小牧市に住所を有すること。
3. 対象となるこどもが市立小学校・中学校で給食の提供を受けていること。
4. 生活保護による給食費相当分の補助を受けていないこと。

なお、令和7年度は物価高騰に伴い給食費を改定しますが、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することで、保護者負担は現状より引き下げます。



充実 子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 子育て世代包括支援センター

- 1 予算額 317,597千円
- 2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要

- 充実**妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 128,687千円
生後 1 か月頃の乳児を対象に発育状況や栄養状態、身体異常の早期発見等を目的として、健診内容の充実を図り、医療機関との連携を強化します。
- 充実**母子保健型利用者支援事業 22,862千円
すべての乳児のいる家庭を訪問し、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつけます。

主な継続事業

- すくすく子育て応援事業(経済的支援) 108,950千円
- 妊娠・出産包括支援事業(産後ケア事業) 8,809千円
- 子ども家庭総合支援拠点事業 21,161千円
- 一時預かり事業 27,128千円



児童生徒１人１台タブレット整備事業

教育委員会事務局 学校教育ICT推進室(※)
(※R7.4.1～ 学校教育課)

1 予 算 額 70,700千円

2 目的及び効果 モバイル性に優れ、使い勝手の良い児童生徒用タブレットを整備することにより、安全で快適なICT教育環境を整備します。

3 事業概要

○令和2年度整備分(GIGA スクール構想分)

令和7年12月末にリース期間満了となる児童生徒用タブレット(全小学校、令和6年度に更新を行った小牧中・篠岡中・光ヶ丘中以外の6中学校分)約10,500台の更新を行います。

児童生徒用タブレットとあわせて、授業支援ソフト、デジタルドリルソフト、フィルタリングソフト等の更新も行います。



米野小学校改築事業

教育委員会事務局 教育総務課

- 1 事業年度 令和4年度～令和9年度
- 2 予算額 1,277,817千円
(継続費[令和7～9年度] 4,884,056千円)
- 3 目的及び効果 米野小学校は、昭和45年に開校し、すでに建築後50年以上が経過し、建物が老朽化しています。さらに、児童数の増加により、教室数が不足し、一時的な措置として、仮設校舎を建設し対応しています。

これらの課題を解消するため、米野小学校を改築することで、安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごせる施設環境が提供できます。

- 4 事業概要 令和7年度は、改築工事に着手します。
- 構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地上3階建
延床面積 8,669.40 m²



完成イメージ

年度	4	5	6	7以降
	基本構想・基本計画	基本設計 現況測量 地質調査	実施設計	工事 令和9年の早い時期 に校舎完成予定

改築スケジュール

新規

学校再編推進事業

教育委員会事務局 教育総務課

1 事業年度 令和7年度～

2 予算額 36,267千円

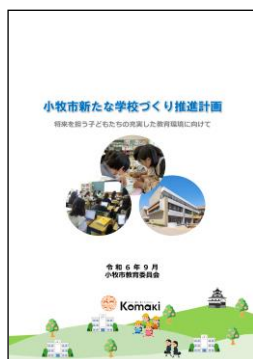
3 目的及び効果

「小牧市新たな学校づくり推進計画(令和6年9月策定)」に基づき、適正規模の学校を適正に配置することを基本的な考え方とした市内小中学校の学校再編を進め、子どもたちにとってより望ましい教育環境の実現を目指します。

4 事業概要

児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が特に大きい、篠岡地区、北里地区、巾下地区の3地区において、それぞれの地区に「学校を考える会」を設置し、意見を聴きながら地区別の学校再編計画を策定します。

また、学校再編計画と並行して、地域との協議を踏まえながら、学校施設整備のための基本構想・基本計画の策定を進めます。





戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環する仕組みを構築します。健康づくりでは、人生100年時代の到来に備え、生涯にわたって元気に活躍できるよう、心身ともに「健康」な状態を保つとともに、支え合い活動では、個人の学びを地域に還元できる支え合いの担い手を育成します。

<重点事業2-1 人生100年時代の健康づくり>

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	53.6% (令和3年度)	57.0%				65.0%	70.0%
フレイルチェック測定会参加者数	119人	154人				600人	1,100人

<重点事業2-2 生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成>

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
生涯学習に関する講座の受講者数	5,884人	9,217人				10,000人	12,000人
ボランティア新規登録者数(累計)	0人	348人				450人	680人

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



＜重点事業2-3 健康づくり・地域の支え合い活動の循環＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
こまきいきいきポイント還元者数	4,395 人	4,936 人				5,300 人	6,000 人
福祉分野の活動をしている地域協議会の割合	69.2%	69.2%				78.6%	86.7%
市内限定商品券が使える店舗数	604 店	589 店				現状維持	現状維持

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

健康増進施設運営事業

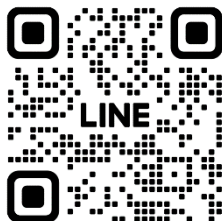
健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予 算 額 29,667千円

2 目的及び効果 健康づくりとフレイル予防を推進する拠点となる施設「ヘルスラボ・こまき」を管理・運営し、子どもからお年寄りまで、それぞれのライフステージにあった健康づくりやフレイル予防に取り組むための“気づき”や“きっかけ”を提供し、習慣化を目指します。

3 事業概要

- 気軽に自分の「健康度」を測定でき、健康意識を醸成するとともに、さまざまな健康に関する情報発信を実施します。
- 日頃の食生活の改善に向けた栄養相談などを実施します。
- 健康づくりに役立つ運動や栄養の教室などを開催します。
- 日常生活の中で健康になれる方法の普及啓発を行います。
- 高齢期を対象とし、フレイルチェックシステムを活用した気づきの支援を行います。



ヘルスラボ・こまき
公式 LINE



高齢者外出支援事業

福祉部 地域包括ケア推進課

1 予 算 額 14,602千円

2 目的及び効果 介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、一般タクシーやリフト付きタクシー等の利用料金の一部を助成する利用券を交付することにより、高齢者の日常生活における外出支援及びその家族の負担軽減を図ります。

3 事業概要

(1) 高齢者タクシー料金助成事業

要介護1以上の方を対象とし、行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付します。

【利用券】初乗料金分(24枚/年)

(2) 高齢者外出支援サービス事業

要介護3以上の方を対象とし、行き先を医療機関や福祉サービスの実施場所までに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成する利用券を交付します。

【利用券】1時間又は20kmまで(24枚/年)



地域協議会設立推進・活動支援事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予 算 額 31,198千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区（自治会）やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成、地域への働きかけ
講演会や勉強会、説明会等の開催など
- 必要に応じた制度の見直し
地域協議会代表者会議の開催など



地域協議会の設立状況

	小学校区名	設立年月日(認定年月日)
1	陶	平成26年3月2日 (令和2年4月1日)
2	篠岡	平成27年4月5日 (令和2年4月1日)
3	小牧原	平成28年4月24日 (令和2年4月1日)
4	大城	平成29年6月25日 (令和2年4月1日)
5	本庄	平成30年2月25日 (令和2年4月1日)
6	味岡	平成30年3月24日 (令和2年4月1日)
7	光ヶ丘	平成30年11月10日 (令和2年4月1日)
8	小木	平成30年11月25日 (令和2年4月1日)
9	桃ヶ丘	令和元年6月23日 (令和2年4月1日)
10	小牧	令和元年10月26日 (令和2年4月1日)
11	北里	令和元年12月7日 (令和2年4月1日)
12	三ツ渕	昭和54年12月23日 (令和2年5月25日)
13	一色	令和2年6月1日 (令和2年6月5日)
14	村中	令和6年4月20日 (令和6年4月22日)

地域協議会の主な活動内容

■課題解決事業

防災訓練、高齢者の生活支援活動、通学路の見守り活動等の地域の課題解決に向けて取り組む事業

■交流促進事業

まつり、運動会、コンサート等の地域住民の交流を深めるために学区で取り組む事業



▲さわやかウォーキング(篠岡)



▲あおぞら市場(桃ヶ丘)

健康いきいきポイント推進事業

健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予 算 額 14,185千円

2 目的及び効果 市民がいつまでも健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりの習慣と関心を高め、楽しく継続できる環境づくりを推進することにより、健康寿命の延伸を目指します。

3 事業概要

(1) 健康いきいきポイント(対象:中学生以上の方)

日常的な健康づくりの取組や検診、健康に関する講座等に参加することでポイントを付与し、一人ひとりの健康づくりを促進します。

(2) 子ども版健康いきいきポイント(対象:小学生)

家族と一緒に取り組んだ健康づくりの基本である「食・睡眠・運動・歯みがき」等に関連する取組に対しポイントを付与し、健康づくりを促進します。

(3) スマートフォン用ウォーキングアプリalko

誰でも気軽に取り組めるウォーキングを推進し、継続した運動習慣の確立を促進するため、ウォーキングアプリ「alko」を活用します。歩いた歩数により獲得したポイントは、抽選で“市内限定商品券”に交換できます。





充実

支え合いいきいきポイント推進事業

健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予算額 6,075千円

2 目的及び効果 施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めます。

また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みになります。

3 事業概要

■施設ポイント

充実

内 容	市が指定する介護施設に加え、令和7年度からは障害者支援施設等での補助的なお手伝い(イベント、清掃など)をした場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進



▲コハルデイサービス「折り紙」



■サロンポイント

内 容	サロン等の運営(参加者の受付、準備、片付け)に協力した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	サロン等の運営の協力者を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化



▲ラポールカフェ「レクリエーション」

■地域ポイント

内 容	日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した場合にポイントを付与 ※対象:地域協議会設立小学校区の区域内に在住)
対象者	18歳以上の市民(地域協議会が設立されている小学校区の区域内に在住)
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	地域協議会の協力者を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援



▲味岡おたすけ隊「除草作業」

こまきプレミアム商品券発行助成事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 予 算 額 263,000千円

2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援して、地域経済の活性化を図ります。

3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、令和7年度は、燃料価格や物価の高騰対策のため、プレミアム率を20%として、総額14億4,000万円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続します。

また、健康づくり・支え合い活動の活性化と地域内循環を生み出すための経済的トリガーとして、プレミアム商品券を活用します。

なお、令和7年度は事業費の一部に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

(参考:令和6年度商品券)

え〜なも券



小牧山城 石垣

い〜なも券



名古屋コーチンPRキャラクター こまちゃん





戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

市民の愛着や誇りを醸成し、市内外から支持される魅力あるまちづくりを進めるとともに、本市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを構築します。

「小牧市中心市街地グランドデザイン」による中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、「東部振興構想」に基づく新たな魅力の創出や魅力の再発見を通じて、誰もが暮らしたくなる東部のまちづくりを進めます。また、北西部地区についても、道路や北西部地区公園などの基盤整備を計画的に進めます。

<重点事業3-1 関係人口の拡大・深化>

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
市政情報に関する動画の閲覧数（累計）	105 万回	126 万回				190 万回	280 万回
ふるさと納税の寄附者数	56,088 人	64,651 人				74,000 人	89,000 人

<重点事業3-2 魅力と活力ある中心市街地の創出>

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
中心市街地まちづくりプラットフォーム登録者数	96 人	111 人				130 人	210 人
中心市街地に立地している主な公共施設の来館者数	101 万人	108 万人				105 万人	110 万人
史跡小牧山を訪れた人の数	35 万人 (令和4年)	41 万人 (令和5年)				38 万人	41 万人

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



＜重点事業3-3 夢と希望あふれる東部地域の振興＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
東部まちづくりプラットフォーム登録者数	75 人	109 人				140 人	180 人

＜重点事業3-4 市内産業力の強化と地域経済の活性化＞

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値	
						R8	R12
企業新展開支援プログラムを通じた支援件数	919 件	897 件				930 件	940 件
魅力あるふるさと納税返礼品の種類	378 品	494 品				650 品	930 品

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

中心市街地活性化事業

都市政策部 都市整備課

1 予算額 7,264千円

2 目的及び効果 「小牧市中心市街地グランドデザイン」に基づき、将来にわたって魅力があふれ、活力が持続する中心市街地としていくため、「小牧市中心市街地グランドデザインアクションプラン」に位置付けられた各種事業を進め、まちの将来像の実現を目指します。

3 事業概要

(1) 中心市街地まちづくりプラットフォーム

住民や商店、関係団体等がつながる場であるプラットフォームにおいて、様々な形でつながる機会を提供し、中心市街地のまちづくりに携わる人の輪を広げていきます。

【プラットフォーム登録者数】125名(令和7年1月末現在)



登録コチラ

(2) 中心市街地活性化プロジェクト「コマナカ meet」

中心市街地の活性化を目的に集い・出会った人々が、自ら企画を立ててチャレンジしながら街を元気にしていくプロジェクトである「コマナカ meet」を実施し、市民等と連携・協働しながら中心市街地の活性化を図ります。

【これまでに実施した主なプロジェクト】



▲ストリートファニチャー



▲こまき街なか大運動会



▲コマナカフジシ



▲こまきまな防災



小牧山東公園整備事業

都市政策部 みどり公園課

1 予 算 額 241,200千円



2 目的及び効果 小牧山東公園については、「小牧市中心市街地グランドデザイン」において民間活力を導入し公園整備することとされていることから、官民連携により地域住民や訪れた人が立ち寄り、憩い、交流できる公園を整備し、将来にわたって魅力と活力の続くまちづくりを進めます。

3 事業概要 令和7年度は、6月頃の供用開始に向けて公園整備を進めます。



詳細はこちらへ



史跡小牧山整備事業

教育委員会事務局 小牧山課

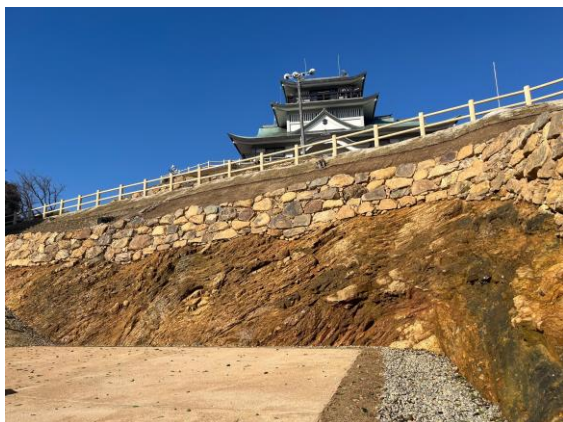
1 予 算 額 208,662千円

2 目的及び効果

小牧市のシンボルである史跡小牧山の発掘調査によって得られた成果をもとに、織田信長が築いた石垣復元などの史跡整備を進めることによって、史跡小牧山の歴史的価値や魅力をよりわかりやすく伝えることができるようになるとともに、市民が誇りと愛着を持てる場となります。

3 事業概要

史跡小牧山主郭地区のうち山の中腹付近で大手道の発掘調査を行い、史跡整備のための資料とするとともに、歴史館の南東側で、織田信長が築いた石垣等を復元する史跡整備を行います。



令和5年度に実施した整備で復元した石垣(歴史館南側)



東部まちづくりプラットフォーム推進事業

都市政策部 東部まちづくり推進室

1 予 算 額 4,895千円

2 目的及び効果 東部振興構想の実現に向け、住民をはじめ、東部地域に関係する人たちと、まちの課題やまちづくりの方向性を共有し、夢と希望をもって連携・協力した取組を推進します。

3 事業概要

(1)東部まちづくりプラットフォームの構築

東部振興構想の実現に向けて、地域に関わる様々な主体がつながる場となる「プラットフォーム」の拡充を図ります。

【プラットフォーム登録数】122名(令和7年1月末現在)

(2)東部地域トライアル活動支援補助金

住民等によるまちづくりの取組促進を図るため、トライアル活動に対する支援を行います。



詳細コチラ

(3)東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度

事業者等からまちづくり活動への支援ができるように、市民活動団体と事業者等のマッチングを行います。

【令和6年度トライアル活動】

- ◆「みんなの居場所づくり」の第一歩として、空き家を活用したおおくさの家で、アートワークショップやまちの歴史探検等のイベントを開催
- ◆しのおかの桃を使用した無添加のジャムとジュースを大学祭で販売し、特産物をPR など



充実 企業新展開支援プログラム推進事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 事業年度 令和7年度～令和9年度

2 予算額 89,203千円

3 目的及び効果

新型コロナウイルス感染症の影響、AIやIoT等のデジタル技術の浸透、SDGsやカーボンニュートラルなど大きく変化する社会経済環境に対応するため、令和5年3月に改定した小牧市企業新展開支援プログラムに基づき、補助制度の内容を充実させ、産業振興施策を推進します。

4 事業概要

(1) デジタル化支援補助金

社内の生産性向上に向けたデジタル技術の導入・活用にかかる費用に対する補助を行うことにより、事業のデジタル化・DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組の促進を図ります。

【補助額】対象経費の1/2 (上限100万円)



(2) ECサイト導入支援補助金

自社ECサイト改修にかかる費用に対する補助を行うことにより、販路開拓の促進を図ります。 ※前年度受給者は対象外

【補助額】対象経費の1/2 (上限30万円)



(3) **充実** 知的財産権取得事業費補助金

知的財産権の取得にかかる費用に対する補助を行うことにより、企業価値及び資質の向上を図ります。また、令和7年度からは海外への出願についても対象とします。

【補助額】対象経費の1/2 (上限50万円)



(4) **充実** 人材育成研修費補助金

人材研修にかかる費用に対する補助を行うことにより、本市産業の振興を図ります。また、令和7年度からは対象機関の充実を図ります。

【補助額】対象経費の1/2（上限50万円）

(5) **充実** 人材確保支援補助金

求職マッチングサイトの登録料や、合同説明会への参加料に対する補助を行うことにより、市内中小企業、小規模事業者の人材確保の促進を図ります。

① 求職マッチングサイトの登録料

【補助額】対象経費の1/2(上限15万円)

② 合同企業説明会の参加料

【補助額】対象経費の1/2(上限20万円)

(6) 副業・兼業人材活用支援補助金

中小企業や小規模事業者に対して副業・兼業マッチングプラットフォームの利用に要した費用に対する補助を行うことにより、人材不足の解消や新たな事業に対する取組を支援します。

【補助額】対象経費の1/2（上限10万円）



● 上記内容や前プログラムから継続して実施する様々な補助制度や取組により、市内事業者に対する支援を展開していきます。



企業立地推進事業

地域活性化営業部 企業立地・次世代産業推進課

1 予算額 595,509千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

3 事業概要

○ 小牧市企業立地促進補助事業 289,000千円

市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設をした工場等に係る固定資産評価額に8%（市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る。））を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%（市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る。））を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住工混在移転、航空宇宙関連産業立地又は次世代産業立地のいずれかに該当する場合は、補助率を2%上乗せします。

その他の支援制度 **令和7年度当初予算に計上のないもの**

○ 小牧市高度先端産業立地促進補助事業

愛知県の補助制度と連携し、高度先端産業に係る工場の新增設等を行う中小企業を支援します。



○ 小牧市内企業再投資促進補助事業 295,048千円

愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。

補 助 対 象	20年以上県内に立地する工場等を有し、かつ、10年以上市内に立地する工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対 象 経 費	固定資産取得費用(土地を除く。)
補 助 率	大企業:8%以内(県支援分は4%以内) 中堅企業及び中小企業:10%以内(県支援分は5%以内)
限 度 額	10億円(県支援分では5億円)

※中堅企業:従業員2,000人以下の大企業

○ 小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 6,000千円

周辺住民への配慮のため、工場等の騒音、振動及び臭気を防止する設備等の新規導入又は改修等を実施する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

補 助 対 象	市内に立地する製造業などの中小企業
対 象 経 費	設備等の新規導入又は改修等に係る費用
補 助 率	50%以内
限 度 額	500万円



○ 小牧市企業立地インフラ整備支援補助事業 5,000千円

工場等の新設又は増設に伴うインフラ整備に対し、補助金を交付します。

補 助 対 象	小牧市企業立地促進補助事業、小牧市内企業再投資促進補助事業等の対象となる事業を行う事業者
対 象 経 費	道路、水路又は水道施設の新設・改修の工事に係る費用
補 助 率	50%以内
限 度 額	500万円

第Ⅲ部

分野別計画編

第1章 安全・環境

1. 防災・減災
2. 交通安全・防犯
3. 消防・救急
4. ごみ・資源・エネルギー
5. 自然・生活環境



基本施策1

防災・減災

◆基本施策の目的

市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に地域が一体となって被害を最小限に抑えられるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
自然災害による死傷者数	0人	0人				→

展開方向1:市民一人ひとりの防災意識を高めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合	54.3% (令和3年度)	53.3%				↗
家具の転倒防止などの措置をしている市民の割合	40.0% (令和3年度)	36.6%				↗
避難所を知っている市民の割合	76.0% (令和3年度)	73.8%				↗
市公式 LINE で災害情報のセグメントを登録している市民の数	39,739人 (令和5年度)	—				↗

展開方向2:災害に備えて地域で支え合う風土を醸成します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
防災訓練への参加者数	2,187人	2,838人				↗
災害時外国人支援ボランティアが防災訓練に参加した学校数	6校	6校				↗
自主防災会活動支援補助金の活用団体数	94団体	111団体				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



展開方向3:災害時に迅速に対応できる体制を強化します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市職員向けの研修・訓練回数	7回	7回				↗
災害時に備えた関係団体との研修回数	7回	8回				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策2

交通安全・防犯

◆基本施策の目的

交通事故や犯罪、消費者トラブルの被害者や加害者になることがないよう、すべての市民が安全・安心に暮らせるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
人身事故件数	541 件 (令和4年)	561 件 (令和5年)				↘
刑法犯認知件数	874 件 (令和4年)	958 件 (令和5年)				↘
消費生活センターで把握した消費者トラブルの件数	921 件	971 件				↘

展開方向1:交通安全意識と交通マナーを高めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
交通安全教育への参加者数	3,171 人	4,114 人				↗
啓発活動などへの参加企業数	4社	8社				↗
交通安全対策事業への高齢者の参加者数	251 人	350 人				↗
自転車に乗る時にヘルメットを着用している割合	7.1% (令和3年度)	25.2%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



展開方向2:犯罪を防ぐ地域の防犯力を高めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
空き巣、忍び込み防止対策をしている市民の割合	51.0% (令和3年度)	47.5%				↗
自動車盗、部品ねらい、車上ねらいの防止対策をしている自動車の保有者の割合	39.0% (令和3年度)	39.0%				↗
防犯カメラ設置数	749 台	853 台				↗
防犯教育や防犯訓練への参加者数	313 人	453 人				↗

展開方向3:消費生活に関し、安心して相談できる環境を整えます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
消費生活センターを知っている市民の割合	58.5% (令和3年度)	53.8%				↗
高齢者の見守り支援関連団体への啓発実施回数	2回	2回				↗
小中学校を中心とした若年層への啓発実施回数	0回 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策3

消防・救急

◆基本施策の目的

消防・救急体制及び防火安全対策を強化し、災害や事故から市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
建物火災による死者数(放火自殺者を除く)(累計)	4人 (※1)	0人 (※2)				↘
建物火災による負傷者数(放火自殺者を除く)(累計)	27人 (※1)	6人 (※2)				↘
建物火災の発生件数(累計)	84件 (※1)	33人 (※2)				↘
救命率	5.1% (令和4年)	2.1% (令和5年)				↗

※1 平成31～令和4年の累計値

※2 令和5～8年の累計値

展開方向1:火災予防対策を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
住宅用火災警報器の条例適合設置率	72.0%	73.2%				↗
重大な消防法令違反の特定防火対象物数	0棟	0棟				→
耐震性防火水槽の割合	39.3%	40.5%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



展開方向2:救命率の向上を図ります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
救命講習及び救命入門コースの受講者数	2,427 人 (令和4年)	4,499 人 (令和5年)				↗
心肺停止傷病者に対する市民の応急手当実施率	64.6% (令和4年)	66.0% (令和5年)				↗
救急車への救急救命士の搭乗率	100% (令和4年)	100% (令和5年)				→
救急車の現場到着所要時間	8.3 分 (令和4年)	8.0 分 (令和5年)				↘

展開方向3:消防団活動の充実強化を図ります

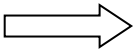
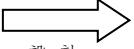
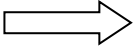
指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
消防団員の定員に対する充足率	100%	100%				→
消防団員が訓練に参加した延べ人数	2,439 人	2,690 人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

消防団車庫建設事業

消防本部 消防総務課

- 1 事業年度 令和5年度～令和7年度
- 2 予算額 127,096千円
- 3 目的及び効果 消防団の第2分団車庫を、出動に安全でかつ、ミーティングスペースや駐車スペースなど十分な敷地を確保できる適切な場所への移転を進めます。
- 4 事業概要 令和7年度に大字西之島地内への移転完了を目指し、消防団車庫の建設事業を進めます。
また、同敷地内に、耐震性の防火水槽を1基設置します。

年度 分団	R5	R6	R7
2分団	 用地購入	 設計	 工事

車庫建設スケジュール



基本施策4

ごみ・資源・エネルギー

◆基本施策の目的

カーボンニュートラルの実現に向けて、市民・事業者・市が自ら積極的に取り組むとともに、協働による5Rを通じた資源循環型社会を構築します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
1人1日当たりのごみの排出量(家庭系ごみ)	439.2g	421.0g				↘
事業系ごみの年間排出量	10,531t	10,396t				↘
市内温室効果ガス排出量	1,865千t-CO ₂ (令和2年度)	2,043千t-CO ₂ (令和3年度)				↘

◆展開方向1:ごみの適正な排出を徹底します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
ごみ分別アプリサービス(さんあ〜る)の登録件数	5,486件	9,290件				↗
廃棄物適正処理指導員が対応した不適正排出の件数	707件	725件				↘
特別収集の受付件数	907件	597件				↘
こまやか収集実施世帯数	358世帯	353世帯				↗

◆展開方向2:市民・事業者・行政の協働による5Rの取組を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
再資源化率	36.6% (令和3年度)	36.5% (令和4年度)				↗
再資源化施設で処理された事業系ごみの量	4,283t	4,673t				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第1章 安全・環境

◆展開方向3:エネルギーの地産地消を進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
地球温暖化対策設備の設置補助件数(累計)	854 件	1,094 件				↗
事業者に対する省エネルギーの支援件数(累計)	9件	16 件				↗
公共施設のエネルギー消費量(原油換算)	12,054kl (令和3年度)	11,754kl (令和4年度)				↘
太陽光発電設備導入施設数	49 施設 (令和4年度末)	49 施設 (令和5年度末)				↗

◆展開方向4:環境意識を高めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小中学生の環境にやさしい生活の達成基準(エコライフチェックシート)	71.9%	72.1%				↗
日頃から省エネルギーを意識した行動を実践している市民の割合	69.9% (令和3年度)	70.1%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。





充実

ゼロカーボンシティ推進事業

1 予算額

37,945千円

市民生活部 ゼロカーボンシティ推進室
こども未来部 幼児教育・保育課

2 目的及び効果

カーボンニュートラルの実現に向けて、市内から排出される温室効果ガス排出量の削減の取組をさらに進めます。

市は、率先して省エネルギー対策などを行い、自らが排出する温室効果ガスの低減を図るとともに、情報提供などにより市民や事業者の省エネルギー行動を一層普及させます。

市民に向けては、家庭の効率的なエネルギー利用を促進し、地球温暖化防止及び脱炭素社会の形成と市民意識の高揚を図ります。

3 事業概要

(1) 公共施設照明設備LED化事業 1,945千円

(幼児教育・保育課)

公立保育園9園及び私立保育園1園の合計10園の照明設備をLED照明に更新します。

照明設備をLED照明にすることで、従来に比べて消費電力を抑えることができ、電気代の削減が図れるとともに、省エネルギー化による温室効果ガス排出量の削減に貢献します。



(2)住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業 36,000千円

(ゼロカーボンシティ推進室)

省エネルギー型機器・再生可能エネルギーを導入する市民に対し設置費用の一部を補助します。

再生可能エネルギーの導入を一層促進するために、一体的導入を進めている住宅用太陽光発電設備(太陽光パネル)の補助対象の要件について最大出力 10kW 未満から最大出力 50kW 未満へ拡充を図ります。

区分	設備	補助額
単体導入	電気自動車等充給電設備	5万円
	家庭用燃料電池システム	10万円
	家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	1万円
	定置用リチウムイオン蓄電システム (蓄電池)	15万円
一体的導入 (HEMS、住宅 用太陽光発電 設備とあわせ て導入)	蓄電池	上限28万円
	電気自動車等充給電設備	上限18万円
	高性能外皮等(ZEHに必要な高断熱外皮、空調設備、給湯設備及び換気設備)	上限23万円



基本施策5

自然・生活環境

◆基本施策の目的

自然との共生及び大気や水などの身近な地域環境の良好な状態を保持し、ごみのポイ捨てなどがない快適で住みやすいまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
大気汚染に係る環境基準達成項目数(全4項目)	3項目 (令和3年度)	3項目 (令和4年度)				↗
水質汚濁に係る環境基準達成項目数(全5項目)	4項目 (令和3年度)	5項目 (令和4年度)				↗
公害苦情発生件数	179 件	167 件				↘
回収した不法投棄のごみの量	24t	16t				↘

◆展開方向1:豊かな自然環境や生物多様性を保全します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
自然環境学習(水生生物調査など)の実施回数	7回	13 回				↗
特定外来生物の駆除活動実施回数	3回	4回				↗

展開方向2:良好な生活環境を保全・形成します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
環境保全協定締結事業所数(累計)	26 件	27 件				↗
合併処理浄化槽への転換補助基数	9基	8基				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向3:地域の環境美化を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
アダプトプログラム活動者数	15,186 人	16,267 人				↗
クリーンアップ事業活動者数	43,430 人	95,534 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第2章 健康・福祉

- 6. 健康・予防
- 7. 地域福祉
- 8. 介護・高齢者福祉
- 9. 障がい者(児)福祉
- 10. 医療保険・地域医療



基本施策6

健康・予防

◆基本施策の目的

市民一人ひとりが、社会とのつながりを持つとともに、自ら積極的に健康づくりに取り組み、生涯にわたって健康でいきいきと暮らすことができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
健康寿命(男性)	80.34 年 (令和元年)	80.36 年 (令和2年)				↗
健康寿命(女性)	84.19 年 (令和元年)	84.16 年 (令和2年)				↗

◆展開方向1:健康づくりの習慣化に向けた取組を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
ウォーキングアプリ「alko」のダウンロード件数	21,261 件	24,610 件				↗
健康いきいきポイントの利用者数	478 人	831 人				↗
健康経営に取り組んでいる企業数	227 社	314 社				↗
毎日、朝食を食べている児童の割合	82.0%	78.0%				↗
毎日、朝食を食べている生徒の割合	73.2%	73.4%				↗

◆展開方向2:フレイル予防の取組を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
サロンなど地域におけるフレイル予防事業参加者数	597 人	777 人				↗
健康状態不明者数(健診・医療未受診者数)	1,232 人	904 人				↘

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第2章 健康・福祉

◆展開方向3:高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
アクティブシニアの総合相談窓口の相談件数	40 件	58 件				↗
こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」を拠点とした取組への参加者数	391 人	1,466 人				↗
総合相談窓口を通じた関係機関、団体へのマッチング数	47 件 (令和5年度)	—				↗

◆展開方向4:心と体の健康づくりの取組を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
胃がん検診受診率	7.7%	7.3%				↗
大腸がん検診受診率	11.8%	11.4%				↗
肺がん検診受診率	12.7%	12.3%				↗
乳がん検診受診率	4.2%	4.3%				↗
子宮頸がん検診受診率	5.3%	5.4%				↗
健康づくり出前講座の受講者数	590 人	971 人				↗
いきいき世代個別歯科健診受診率	9.4%	7.6%				↗
ゲートキーパー養成講座受講者数	279 人	294 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



充実**带状疱疹予防接種事業**

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予 算 額 132,556千円

2 目的及び効果 带状疱疹はストレスや加齢に伴う免疫力の低下が誘因になり、50代以降で罹患率が高くなり、70歳代がピークとなることから、発症を予防するために65歳の定期接種で免疫を獲得することと、予防接種の費用を助成することにより、経済的負担を軽減し健康の保持と増進を図ります。

3 事業概要

令和7年度から定期接種として開始することが国の方針で示されたことにより、現在実施している助成事業とともに予防接種事業を実施します。

【対象者】

(定期接種)65歳。60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方。65歳を超える方については、5年間の経過措置として5歳年齢ごとに対象とする。

(助成事業)定期対象年齢を除く50歳以上の方

【自己負担額】

(定期接種)シングリックス:1回接種につき、6,600円(2回)

ビケン:1回接種で、2,400円(1回)

【助成額】

(助成事業)シングリックス:1回接種につき、上限1万円(2回)

ビケン:1回接種で、上限3,000円(1回)

※水痘带状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みなどが起こる病気です。



新規

5歳児健康診査事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 5,112千円

2 目的及び効果 言語理解や運動能力が向上し社会性が発達してくる5歳児に対して、成長・発達等を保護者と確認し、特性に合わせた適切な支援が受けられるよう健康診査を実施することで、幼児の健康の保持及び増進と就学までの切れ目ない支援を図ります。

3 事業概要

その年度に5歳に到達する児童に対して、5歳児健康診査を実施します。

実施方法: 集団健診(年間36回)

実施場所: 保健センター

実施内容: (1)身体発育

(2)栄養状態

(3)精神発達

(4)言語障がいの有無

(5)育児上問題となる事項の確認

(生活習慣の自立、社会性の発達、しつけ、食事等)

(6)その他疾病及び異常の有無

お子さんの成長・発達を保護者の方と確認し、特性に合わせた適切な支援につなげます。



新規 電子カルテ・健診予約システム整備事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 16,311千円

2 目的及び効果 乳幼児健康診査で使用するカルテを電子化することで、関係部署間で情報を即時に共有し、迅速に必要な支援を実施可能とします。また、健診予約日の変更や問診票の作成をスマートフォンから可能にして、市民の利便性の向上を図ります。さらに、システム化による業務効率化を図り、コスト削減を図ります。

3 事業概要

○電子カルテシステム

保健センターで実施している乳幼児健康診査において、健診時に受診者の健診結果を直接オンライン入力できる電子カルテを導入し、関係部署間で情報をリアルタイムで共有し、必要な支援が迅速に行えるようにします。



○健診予約システム

乳幼児健診の日程変更や問診票の記入がスマートフォンなどのWEB上で可能となる「健診予約・問診システム」を構築し、健診受診者の利便性の向上を図ります。



充実

不妊不育治療等助成事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 23,620千円

2 目的及び効果 不妊治療は、身体的及び経済的な負担が生じます。妊娠を希望するご夫婦に対し、不妊治療に要する費用を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、子どもを産み育てることができるよう助成します。

3 事業概要

令和7年度から従来助成をしています一般不妊治療、不育症治療の助成に加え、新たに生殖補助医療についても助成します。

○一般不妊治療助成事業

不妊検査、不妊治療、人工授精に要する治療費について、年間50,000円を上限とし継続する24か月(2か年)助成します。

○**新規**生殖補助医療助成事業

体外受精、顕微授精など保険適用の治療費と先進治療などの保険適用外の治療費について、1回あたり100,000円を上限に助成します。(年齢により回数制限あり)

○不育症治療助成事業

不育症の検査や治療に要する費用について、1回の治療あたり150,000円を上限に助成します。



基本施策7

地域福祉

◆基本施策の目的

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合うことで、安心して暮らし続けることができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
地域福祉活動に参加している市民の割合	28.3% (令和3年度)	29.9%				↗

◆展開方向1:地域福祉活動の活性化を進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
福祉体験学習への参加者数	34人	69人				↗
ココボラへの参加者数	55人	97人				↗

◆展開方向2:地域における支え合いの仕組みづくりを進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
避難行動要支援者台帳の登録割合	57.2%	53.3%				↗
民生委員・児童委員の相談件数	6,159件	6,684件				↗
ふくし座談会への参加者数	66人	329人				↗
専門職によるふれあい・いきいきサロンにおける相談巡回件数	256件	254件				↗
お互いさまサポーター登録者数	1,312人	1,321人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向3:重層的支援体制を整えます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
相談に対して生活困窮者支援プランを作成し課題解決につながった割合	52.3%	13.7%				↗
多機関協働による相談支援件数	2件 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



基本施策8

介護・高齢者福祉

◆基本施策の目的

住み慣れた地域での支え合いにより、高齢者が社会との関係を持ちながら自分らしく自立し、安心して暮らし続けることができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
介護保険第1号被保険者の要介護(要支援)認定率	14.0%	14.7%				計画推計値より ↘
要介護(要支援)認定者のうち在宅などで暮らしている市民の割合	79.9%	81.6%				↗

◆展開方向1:健全な介護保険制度を運営します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
地域密着型サービス施設の定員数	511 人	538 人				↗
介護職員研修受講者数	34 人	24 人				↗
介護予防・日常生活支援総合事業開始とともに始まった多様なサービス(住民主体等)の利用者数	91 人	101 人				↗
ケアプラン点検の実施件数	141 件	154 件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第Ⅲ部 分野別計画編

第2章 健康・福祉

◆展開方向2:認知症の人とその家族に対するサポート体制を強化します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
認知症初期集中支援チームが支援した人数	13 人	11 人				↗
認知症カフェやチームオレンジ(認知症の人やその家族を支援する取組や団体)の数	16 か所	16 か所				↗
尾張北部権利擁護支援センターへの高齢者の権利擁護に関する相談人数	98 人	86 人				↗

◆展開方向3:介護予防の環境づくりを推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
週1回以上こまき山体操を実施している団体数	7団体	11 団体				↗
こまき介護予防推進リーダーの人数	117 人	124 人				↗

◆展開方向4:高齢者がいきいきと暮らせる環境を整えます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
老人福祉センターの利用者数	124,799人	198,581 人				↗
シルバー人材センター会員就業率	86.3%	85.4%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



基本施策9

障がい者(児)福祉

◆基本施策の目的

障がいの有無によって分け隔てられることなく、だれもが相互に人格と個性を尊重することで、支え合い、ともに暮らせるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
障がいを理由に差別を受けたり嫌な思いをした経験がある障がい者(児)の割合	18.1%	—				↘
福祉施設から地域へ移行した人数(累計)	11人 (令和3年度)	12人 (令和4年度)				↗
ハローワーク春日井管内における企業の障害者雇用率	2.21%	2.38%				↗

◆展開方向1:障がいに関する正しい理解を深めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
ヘルプマークを知っている市民の割合	64.3% (令和3年度)	76.8%				↗
障がいに関する研修会への参加者数	159人	374人				↗
「障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい」への参加者数と参加ボランティア人数	193人	273人				↗
市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数	127人	116人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第Ⅲ部 分野別計画編

第2章 健康・福祉

◆展開方向2:相談支援体制を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
障害者相談支援事業相談件数	15,133 件	14,844 件				↗
尾張北部権利擁護支援センターへの障がい者の権利擁護に関する相談人数	85 人	88 人				↗
市民後見人候補者名簿登録人数(累計)	—	—				↗

◆展開方向3:障がい者の自立や社会参加を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
相談員などによるサービス利用計画の作成割合	56.4%	53.9%				↗
障害者優先調達推進法に基づく市の物品などの調達実績額	19,966,531 円	25,539,419 円				↗
市の意思疎通支援事業を利用した実人数	13 人	19 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



基本施策 10

医療保険・地域医療

◆基本施策の目的

健全かつ安定的に医療保険制度を運営するとともに、市民が住み慣れた地域でいつでも安心して必要な医療が受けられるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
往診や訪問診療を行う医療機関数	81 か所 (令和3年度)	80 か所 (令和4年度)				↗
市内の医療機関が看取りを行った人数	365 人 (令和3年度)	374 人 (令和4年度)				↗

◆展開方向1:健全な医療保険制度を運営します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
国民健康保険税現年収納率	94.4% (令和3年度)	94.1% (令和4年度)				↗
特定健診受診率	40.5% (令和3年度)	40.8% (令和4年度)				↗
国民健康保険1人当たり保険給付費	288,810 円 (令和3年度)	310,313 円 (令和4年度)				↘

◆展開方向2:在宅医療・介護の支援体制を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
多職種による研修会やカンファレンスの参加者数	484 人	417 人				↗
電子連絡帳への登録患者数	303 人	380 人				↗
在宅医療や ACP に関する講演会・出前講座の参加者数	77 人	267 人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向3:市民病院を核とする地域医療体制を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
救急搬送患者の応需率	90.6%	94.2%				↗
市民病院が提供する地域医療ネットワークシステムの登録医療機関数	71 か所	79 か所				↗
経常収支比率(病院事業)	91.8% (令和元年度)	95.2%				100%以上

◆展開方向4:休日急病診療所の適正運営に努めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
休日急病診療所受診者のうち適正受診者割合	71.7%	79.1%				↗
休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがある市民の割合	10.4% (令和3年度)	17.4%				↘

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



第3章 教育・子育て

11. 学校教育

12. 出会い・結婚・子育て支援

13. 幼児教育・保育



基本施策 11

学校教育

◆基本施策の目的

小牧市の未来を担う子どもたちが、夢を育み、安全・安心な学校生活を送ることができる教育環境を整えるとともに、子どもたちの温かな心の源となる「愛」と、自らを高める意志の源となる「夢」、社会をたくましく生き抜くことができる「生きる力」を育てるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
学校が楽しいと思うこどもの割合	91.0%	92.3%				↗
不登校児童生徒数	631 人	684 人				↘
児童生徒の登下校中の交通事故件数	6件	10 件				↘

◆展開方向1:児童生徒の学びや学校生活を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
自分の考えを伝えようとしている児童生徒の割合	75.0% (令和5年度)	—				↗
授業において友達の考えを聴こうとしている児童生徒の割合	95.7% (令和5年度)	—				↗
夏季教職員研修で「大変なためになった」と答えた教職員の割合	66.8%	45.3%				↗
ゲストティーチャーによる活動回数	183 回	224 回				↗
勤務時間外の在校時間が月 80 時間を超過している教職員の割合	10.2%	4.2%				↘

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向2:児童生徒や家庭への支援体制を強化します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した件数	170 件	221 件				↗
いじめの解消率(小学校)	67.8%	67.7%				↗
いじめの解消率(中学校)	52.5%	45.1%				↗
不登校児童生徒のうち、登校できるようになった者及び良い変化があった者の割合	25.5%	38.2%				↗
語学相談員1人当たりの児童生徒数	46.9 人	45.0 人				↘

◆展開方向3:安全・安心な学校給食を提供します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
残食率	9.3%	12.5%				↘
食育の一環として学校給食に地元食材を使用した回数	221 回	191 回				↗
学校で行った食育の回数	94 回	97 回				↗
食物アレルギーによる事故件数	2件	0件				↘

◆展開方向4:ICT 教育環境を整備し、ICT を活用した学びを充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
ICT を効果的に活用して授業をしている教員の割合	80.0%	84.5%				↗
1日1回以上タブレットを活用しているクラスの割合	60.4%	68.4%				↗
学習者用デジタル教科書を活用している児童生徒の割合	48.6% (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第3章 教育・子育て

◆展開方向5:安全で充実した教育環境を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
施設維持管理上の不備による児童生徒の事故件数	0件	0件				→
トイレの洋式化率	76.8%	81.8%				↗
通学路の安全対策実施件数	10 件	22 件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



新規

体育館空調機設置事業

教育委員会事務局 教育総務課

- 1 予算額 80,396千円
- 2 目的及び効果 体育館は、授業、部活動などの学校活動の他、災害時における避難所として使用しますが、夏季は室内が高温となり、熱中症の危険性が高まります。
そのため、体育館に空調機を設置することで、1年を通じて安全で快適な環境が提供できます。
- 3 事業概要 小中学校体育館への空調機設置を行います。



基本施策 12

出会い・結婚・子育て支援

◆基本施策の目的

結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージにおいて、必要な支援があることで、安心して家族を持ち、子育てできるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
婚姻率（人口千人当たりの婚姻件数）	4.1 （令和3年）	3.8 （令和4年）				↗
合計特殊出生率	1.17 （令和3年）	1.16 （令和4年）				↗
児童館利用者数	543,459 人	620,416 人				↗

◆展開方向1:結婚を望む人を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
結婚支援事業への参加者数	44 人 （令和5年度）	—				↗
結婚新生活支援補助金の交付件数	30 件 （令和5年度）	—				↗

◆展開方向2:安全で安心な妊娠・出産・産後が過ごせるように支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
妊娠 11 週以内の届出率	95.1%	94.9%				↗
産後ケア事業の利用者数（延べ日数）	249 日	357 日				↗
1歳育児相談事業（アニバーサリー事業）の実施率	80.4%	84.7%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は（）書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向3:子育て家庭を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
一時預かり利用者数	1,324 人	2,251 人				↗
児童虐待の解消率	92.9%	89.0%				↗
放課後児童クラブの待機児童数	0 人	0 人				→
放課後子ども総合プラン実施回数	32 回	63 回				↗
ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学などに進学した割合	18.4%	23.2%				↗

◆展開方向4:地域の子育て・子育てを支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
中高生利用者数(市内の8児童館)	37,055 人	50,771 人				↗
市の支援策を活用している子ども会の割合	73.6%	81.4%				↗

◆展開方向5:健全な青少年を地域で育てます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
地域の大人とあいさつをしている中学生の割合	90.7%	89.2%				↗
地域活動に参加している児童生徒の割合	36.5%	31.3%				↗
学校外活動(ジュニアセミナー、自然体験活動)、放課後子ども教室への参加者数	826 人	901 人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きて基準年度等を示しています。

出会い・結婚支援事業

こども未来部 出会い・結婚支援室

1 予算額 21,200千円

2 目的及び効果 少子化の要因の1つである未婚及び晩婚の増加に対する取組として、出会いの場の提供や結婚にかかる経済的支援を行うことで、若年世代が希望する結婚の一助となるだけでなく、社会全体で結婚を応援するという機運の醸成に繋がります。

3 事業概要

○結婚支援委託事業 5,000千円

結婚を希望する方の出会いの機会づくりを目的としたイベント開催や結婚に対する悩みなどが相談できる体制を整えます。また、結婚を望む方が将来のライフデザインを希望を持って描けるようライフイベントについて考えるセミナーを開催します。



○結婚新生活支援補助金支給事業 16,200千円

結婚に向けた準備に経済的な不安を抱える若年世代に対して、一定の所得以下の新婚世帯を対象に引っ越し費用や家賃の一部を支給します。

【対象】 令和7年1月1日から令和8年3月31日の間に婚姻夫婦ともに婚姻届を提出した日における年齢が39歳以下
令和6年中における夫婦の所得合計額が500万円未満などを満たす世帯

【助成額】 夫婦ともに29歳以下の世帯 上限60万円
夫婦ともに39歳以下の世帯 上限30万円



新規

米野児童クラブ整備事業

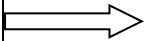

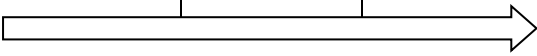
こども未来部 こども政策課

1 予算額 2,362千円

2 目的及び効果 米野小学校の全面改築にあわせて、新校舎内に米野児童クラブを整備することで、昼間保護者が就労などで家庭にいない児童を対象に、家庭に代わる適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

3 事業概要 米野小学校改築工事に伴い、令和7年8月頃に現クラブ棟は取り壊しとなるため、令和7年7月から米野小学校プレハブ校舎に開設場所を移転し、児童クラブの運営に必要な整備を行います。

＜令和7年度事業スケジュール＞

時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	 手洗い場等、設置工事  家具什器等移設			
		 プレハブ校舎で開設(令和9年3月まで)		



充実

養育費確保支援助成金支給事業

こども未来部 こども政策課

1 予算額 950千円

2 目的及び効果 養育費の取り決めに係る費用を助成することにより、ひとり親家庭の安定した生活とこどもの健やかな成長を図ります。

3 事業概要 養育費に関する公正証書の作成や養育費保証契約に係る費用に加え、養育費確保に関する弁護士費用の一部を助成します。

【対象者】

ひとり親で、養育費の取り決めに係る費用を負担した方

【助成額】

- ・公正証書等作成費用(上限額4万円)
- ・養育費保証契約保証料(上限額5万円)
- ・**新規**弁護士費用(上限額10万円)



基本施策 13

幼児教育・保育

◆基本施策の目的

多様化・低年齢化している幼児教育・保育ニーズに対応し、保護者が安心して子どもを預けることができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
希望する幼児教育・保育サービスを受けることができる保護者の割合	82.2% (令和5年度)	—				↗

◆展開方向1:保育需要と多様化するニーズに対応します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
待機児童数	0人 (R4.4.1時点)	0人 (R5.4.1時点)				→
延長保育を行っている保育所等の施設数	23 施設	23 施設				↗

◆展開方向2:保育士の確保、育成に取り組みます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公立保育園 の保育士に占める正規職員(保育士)の割合	49.0%	49.6%				↗
研修参加者数	1,149 人	1,357 人				↗

◆展開方向3:幼児教育・保育施設の整備を進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
築 30 年以上となる市が所有する公立保育園の割合	72.7%	77.3%				↘

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

保育園適正配置・整備推進事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 事業年度 令和4年度～

2 予算額 453,593千円

3 目的及び効果 増大する保育需要に対応するため、老朽化した公立保育園の統合や改修、私立保育園等の誘致を計画的に推進し、安全安心で快適な保育サービスを提供します。



4 事業概要

(1) 古雅保育園の大規模改修 76,989千円

(継続費〔令和6・7年度〕 207,889千円)

園舎の長寿命化等を図る改修工事を行い、早ければ令和10年度の陶保育園との統合を見据え、快適な保育環境を整備します。

(2) 小規模保育事業所の整備 119,362千円

中部地区に令和7年度中の開園を目指し、小規模保育事業所(3施設)を整備します。

(3) 私立保育園の整備(間々原新田地内) 222,438千円

北部学校給食センター北側の市所有地に、令和8年度の開園を目指し、私立保育園を整備します。

(4) 第二保育園の改築 34,804千円

老朽化している園舎の改築を推進し、早ければ令和9年度の開園を目指します。



(仮称)第一こども園施設建設事業

こども未来部 幼児教育・保育課

1 事業年度 令和4年度～令和8年度

2 予算額 347,308千円
(継続費[令和7・8年度] 1,078,876千円)

3 目的及び効果

第一幼稚園の建物は昭和49年度に建築し、園舎の老朽化が進んでいることや園児数の減少などの課題があります。近隣の大山保育園においても園舎の老朽化、保育室不足や送迎用の駐車場が十分に確保できないなど立地条件の問題が浮き彫りとなっています。

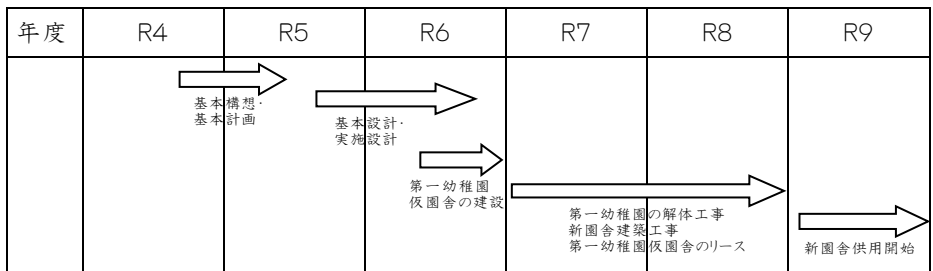
両園が抱える課題を解決し、引き続き安全安心な幼児教育・保育を行うため、第一幼稚園と大山保育園を統合した、公立の認定こども園の整備を推進します。



現在の第一幼稚園

4 事業概要

令和7年度は、第一幼稚園の解体工事、(仮称)第一こども園の建築工事等を行います。



建設スケジュール

第4章 文化・スポーツ

14. スポーツ

15. 文化・芸術

16. 生涯学習

17. 男女共同参画

18. 多文化共生



基本施策 14

スポーツ

◆基本施策の目的

市民の誰もが気軽にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備することにより、心身ともに健康で文化的な生活が送れるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	86.7% (令和3年度)	86.4%				↗

◆展開方向1:スポーツを通して健康で活力ある生活を送ることができる環境をつくります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
スポーツ教室などへの参加者数	2,838 人	3,062 人				↗
スポーツ指導者登録者数	278 人	289 人				↗
令和8(2026)年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	16.4% (令和3年度)	34.0%				↗

◆展開方向2:市民がスポーツ活動に快適に取り組める環境を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数	0件	0件				→
市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	469,015 人	507,822 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第20回アジア競技大会競技施設改修事業

健康生きがい支え合い推進部 文化・スポーツ課

- 1 事業年度 令和7年度～令和8年度
- 2 予算額 156,612千円
- 3 目的及び効果 令和8年度開催のアジア競技大会の会場となる小牧市スポーツ公園総合体育館を国際大会が実施できる状態にするための整備を行います。
- 4 事業概要 音響設備改修工事、照明環境制御システム改修工事、バリアフリー化工事、トイレ改修工事、公園園路改修工事を行います。



基本施策 15

文化・芸術

◆基本施策の目的

市民の誰もが心豊かな人生を送ることができるよう、日頃から文化芸術に親しむことができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	51.8% (令和3年度)	50.8%				↗

◆展開方向1:誰もが文化・芸術に親しみ心豊かな生活を送ることのできる環境をつくります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市民会館での公演などへの参加者数	31,711 人	57,057 人				↗
(一財)こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	30,029 人	33,268 人				↗
こども又は親子で参加する文化体験教室などへの参加者数	1,006 人	1,277 人				↗

◆展開方向2:文化・芸術の推進体制の充実を図ります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧市内を活動拠点とする文化・芸術団体数	273 団体	272 団体				↗
支援を行った文化団体が実施する事業への参加者数	45,511 人	48,694 人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策 16

生涯学習

◆基本施策の目的

豊かな人生を支える、生涯を通じて学ぶことができるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.2% (令和3年度)	34.0%				↗

◆展開方向1:生涯を通して学ぶことができ、学んだ成果を地域活動などに活かし、生きがいを持って生活を送ることのできる環境をつくります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市民講座受講者数	1,629 人	1,761 人				↗
生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合	5.6% (令和3年度)	7.0%				↗
生涯学習に関する相談件数	257 件	293 件				↗

◆展開方向2:市民が生涯学習に快適に取り組める施設を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公民館利用率	38.5%	42.5%				↗

◆展開方向3:図書館サービスを充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
貸出利用者数	325,559 人	324,281 人				↗
貸出点数	1,276,182 点	1,237,671 点				↗
レファレンス処理件数	14,474 件	13,202 件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



基本施策 17

男女共同参画

◆基本施策の目的

固定的な性別役割分担意識や慣習を解消し、男女がともに対等な立場で、自らの個性や能力を発揮し、多様な生き方や考え方、価値観を認め合うまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
働いている女性(20～50 歳代)の割合	74.0% (令和3年度)	75.8%				↗
固定的な性別役割分担について見直すべきと思う男性の割合	80.2% (令和3年度)	77.2%				↗

◆展開方向1:あらゆる分野における女性の活躍を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
審議会などへの女性委員の登用率	24.7%	24.5%				↗
あいち女性輝きカンパニーの認証数	73 件	86 件				↗

◆展開方向2:男女共同参画社会の形成に向けた意識改革や教育を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
男女共同参画に関する講座の受講後アンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した受講者の割合	56.6% (令和5年度)	—				↗
男女共同参画に関する講座を受講した中学生のうち、受講後に男女共同参画に関する意識が変わった生徒の割合	49.9% (令和5年度)	—				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策 18

多文化共生

◆基本施策の目的

日本人市民と外国人市民が、お互いに理解し、差別なく支え合う、笑顔と活力に満ちた、多文化共生のまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧市多文化共生推進プランの達成率	64.9%	72.3%				↗
外国人市民との共生(仲良く暮らしていくこと)が必要と感じる市民の割合	84.9% (令和5年度)	—				↗
外国人市民の登録者数	10,424 人 (R5.4月現在)	10,788 人 (R6.4月現在)				—

◆展開方向1:外国人市民が住みやすい環境を整えます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
外国人市民向けホームページ等の年間アクセス数	7,267 件	5,300 件				↗
外国人相談件数	12,840 件	11,868 件				↗
小牧市国際交流協会が実施する大人向け日本語教室の年間受講者数	301 人	246 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向2:日本人市民と外国人市民が互いの「ちがいを学び交流し、協働する機会を増やします

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市や小牧市国際交流協会が実施する日本人市民と外国人市民が交流する事業などへの参加者数	1,281 人	1,709 人				↗
災害時外国人支援ボランティアの登録者数	62 人	70 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第5章 産業・交流

19. シティプロモーション

20. 農業

21. 商工業

22. 歴史・文化財



基本施策 19

シティプロモーション

◆基本施策の目的

様々な地域資源の魅力向上とその活用によるシティプロモーションを推進するとともに、魅力を市内外に発信することにより、「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「住み続けたいまち」を形成します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
交流人口	1,016,317 人	1,405,758 人				↗
小牧市のイベント、施設に関する検索数	8,450 件 (令和5年度)	—				↗

◆展開方向1:シティプロモーションを推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
ブランドロゴマークを知っている市民の割合	72.8% (令和3年度)	80.1%				↗
市公式 LINE の友だち数	61,391 人	66,612 人				↗

◆展開方向2:地域資源の魅力を高めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
人に紹介したくなる観光資源があると答えた市民の割合	38.4% (令和3年度)	47.7%				↗

◆展開方向3:まちのにぎわいを創出します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧市民まつり、こまき令和夏まつり、こまき信長夢夜会に会場又は参加した市民の割合	35.7% (令和元年度)	26.4%				↗
来年以降も市民まつりに来たいと答えた市民の割合	33.7% (令和3年度)	34.8%				↗
こまき令和夏まつりに会場した10歳代・20歳代の割合	37.9% (令和元年度)	17.0%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

米国ワイアンドット市・グラント郡 交流事業

地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 予 算 額 11,170千円(債務負担行為 3,700千円)

2 目的及び効果 ワイアンドット市及びグラント郡と小牧市の友好が深まり、経済、教育、人材育成など、様々な分野において、連携、協力し、両地域が将来にわたって発展していくことを目的に行います。

3 事業概要 (1)グラント郡中学生派遣事業(令和7年度派遣)
(2)ワイアンドット市中中学生派遣事業(令和8年度派遣)

市内在住の中学生が
現地の学校体験及びホームステイを行い、交流を図ります。



(3)ワイアンドット市中中学生受入事業

ワイアンドット市の中中学生を受け入れ、学校体験及び市内中学生の家庭でホームステイを行い、交流を図ります。



基本施策 20

農業

◆基本施策の目的

市民の農業への関心や理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤が維持され、優良な農地が保全されたまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
耕作放棄地の面積	65ha	65ha				↘
鳥獣による農作物被害額	1,925 千円 (令和3年度)	1,908 千円 (令和4年度)				↘
農家1戸当たりの生産農業販売実績額	177 千円 (令和3年度)	181 千円 (令和4年度)				↗

◆展開方向1:農業の担い手を育成・確保します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
農業体験事業への参加者数	20 人	20 人				↗
認定新規就農者数	4 人	1 人				↗
認定農業者数	25 人	26 人				↗

◆展開方向2:優良な農地を維持・保全します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
農業の担い手へ集積した農地面積	75.8ha	68.4ha				↗
農地中間管理機構を活用した貸付面積	20.2ha	39.6ha				↗

◆展開方向3:農業にふれあえる機会を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市民菜園の利用者数	175 人	198 人				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向4:農業生産基盤の整備を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
新木津用水路改修工事の進捗率	54.5%	61.4%				↗
小木排水機場改築事業の進捗率	20.1%	21.6%				↗

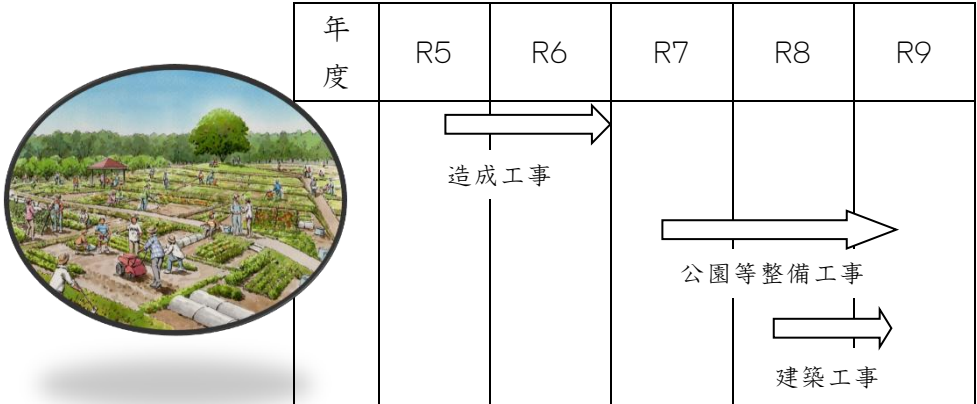


(仮称)農業公園整備事業

地域活性化営業部 農政課

- 1 予算額 48,880千円
(継続費[令和7～9年度] 331,000千円)
- 2 目的及び効果 「食育と環境 ～農と里山の恵み・ふれあい～」を基本理念に、子どもや高齢者の方々を含めた全ての世代の市民を対象に、身近な農業を通じた食の大切さを理解する場とするとともに、里山を生かし自然環境とのふれあいの場を通して農業振興の発信の場を目指します。
- 3 事業概要 (仮称)小牧市農業公園の供用開始を目指し、公園等整備工事及び建築工事の実施設計等を進めます。

○整備スケジュール



令和5年1月～令和7年3月 造成工事

令和7年10月～令和9年6月 公園等整備工事

令和8年10月～令和9年6月 建築工事

令和9年度 開園予定

基本施策 21

商工業

◆基本施策の目的

社会経済状況の変化を踏まえつつ、市の強みや特性を活かして産業力を高め、企業立地や次世代産業の推進を図ることにより、アフターコロナの持続可能な社会を支えるバランスの取れたより足腰の強い産業構造のまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市内総生産額	1,039,563 百万円 (令和2年度)	1,338,480 百万円 (令和3年度)				↗
製造品出荷額等	1,316,660 百万円 (令和2年)	1,670,259 百万円 (令和3年)				↗

◆展開方向1:既存事業者の経営を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市内事業者に対する各種補助件数(累計)	718 件	1,314 件				↗
事業のデジタル化、省エネルギーの取組に対する補助件数	23 件	86 件				↗
こまき新産業振興センターにおける支援企業数	44 件	54 件				↗
事業承継相談窓口の相談件数	12 件 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向2:産業集積を進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市の補助制度を活用して進出した企業数(累計)	16 件	16 件				↗
新たな立地許可基準(都市計画法第34条第12号の規定に基づく条例)を活用した立地件数(累計)	7 件	8 件				↗
次世代産業人材の育成・確保の取組のため市の補助制度が活用された件数(累計)	8 件	20 件				↗
次世代産業への参入に向けた販路開拓の取組のため市の補助制度が活用された件数(累計)	0 件 (令和5年度)	—				↗

◆展開方向3:起業・創業希望者や企業のチャレンジを支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
セミナー参加者の起業・創業者数(累計)	31 人	34 人				↗
起業・創業者に対する補助件数(累計)	76 件	154 件				↗
市内事業者の新たな取組や販路開拓に対する補助件数(累計)	65 件	133 件				↗

◆展開方向4:人材の確保・育成と求職活動を支援します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
就職フェアにおける1出展事業者当たりの来場者の人数	1.03 人	0.69 人				↗
小牧市就労支援センターにおける新規相談者数に対する就職した人の割合	28.5%	28.4%				↗
人材確保・育成に対する補助件数	20 件	36 件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策 22

歴史・文化財

◆基本施策の目的

市民が郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着を深め、誇りに満ちたまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合	61.0% (令和3年度)	68.4%				↗

◆展開方向1: 史跡小牧山を保存・活用します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館、小牧市創垂館の入場者数	80,629 人	137,304 人				↗

◆展開方向2: 小牧固有の歴史・文化遺産を保存・活用します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
指定文化財の件数	44 件	43 件				↗
講座や展示、ワークショップ等への参加者数	37,137 人	38,181 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



第6章 都市基盤・交通

23. 市街地整備

24. 都市交通

25. 道路・橋りょう

26. 上下水道

27. 河川・水路

28. 公園・緑地・緑道

29. 住宅・居住



基本施策 23

市街地整備

◆基本施策の目的

市民のライフスタイルや居住選択を尊重した上で、安全・安心に暮らすことができる居住環境を形成し、地域特性に応じた都市機能を誘導・集積し続けることでコンパクトな都市構造のまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
居住誘導区域内居住率	71.5%	71.6%				↗
居住誘導区域内人口密度	53.9 人/ha	53.6 人/ha				↗
都市機能誘導区域における誘導施設立地数	44 施設	44 施設				↗
東部地域の生産年齢(15歳～64歳)人口割合	58.3% (令和2年度)	—				→

◆展開方向1:都市機能を適切に配置・誘導し、魅力のある市街地を形成します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
名鉄小牧駅の1日平均乗降者数	10,188 人/日	10,629 人/日				↗
桃花台中心地区の歩行者・自転車通行量	170 人/12h	186 人/12h				↗

◆展開方向2:中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまちを形成します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
中心市街地の歩行者・自転車通行量	5,817 人/12h	6,289 人/12h				↗
中心市街地の自主活動の参加者数	33 人 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向3:良好な住環境及び工業系市街地を創出します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
土地区画整理事業の施行区域内の居住人口	9,553 人	9,536 人				↗
土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率	81.6%	82.2%				↗
土地区画整理事業の施行区域内の建築行為申請面積	59.85ha	60.55ha				↗

◆展開方向4:東部地域への関心を高め、人や情報のつながりを深めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市ホームページ(東部まちづくりニュースのページ)の年間アクセス数	3,293 件	2,452 件				↗
東部地域トライアル活動支援及び東部地域トライアル活動支援補助金の申請件数(累計)	6件	9件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

土地区画整理事業関連整備事業

都市政策部 区画整理課

1 予 算 額 418,285千円

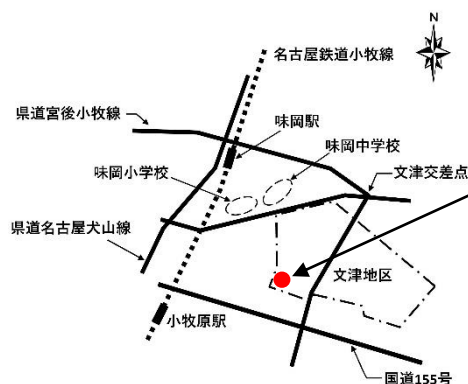
2 総事業費 継続費[令和6～8年度] 1,130,500千円

3 目的及び効果 道路や公園等の整備を図り、健全で良好な市街地形成を図るため、土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進するとともに関連工事等を実施します。

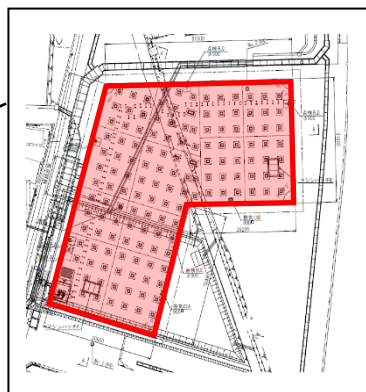
4 事業概要

○文津1号調整池関連整備事業

小牧文津土地区画整理事業に併せて1号調整池の地区外流域相当分の整備工事を行います。



文津1号調整池



基本施策 24

都市交通

◆基本施策の目的

集約型市街地の形成を誘導しながら、過度に自動車に依存することのない暮らしを実現するため、利用しやすい交通手段のあるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公共交通機関の1日平均利用者数	39,247 人/日	41,339 人/日				↗
週1回以上公共交通機関を利用している市民の割合	14.5% (令和3年度)	16.6%				↗

◆展開方向1:より多くの市民が利用できる持続可能な公共交通体系を構築します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
こまき巡回バス「こまくる」の1日平均利用者数	2,088 人/日	2,269 人/日				↗
名鉄バス間内岩倉線の1日平均利用者数	84 人/日	90 人/日				↗

◆展開方向2:公共交通の利用を促進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
過去1か月以内に公共交通機関を利用したことがある市民の割合	42.4% (令和5年度)	—				↗
啓発活動やイベントなどの実施回数	4 回	4 回				↗
バス停の待合環境整備箇所数(累計)	13 か所	18 か所				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

自動運転実証調査事業



都市政策部 都市整備課

1 予算額 153,227千円

2 目的及び効果 市民の日常生活の足を支えているこまき巡回バス「こまくる」の将来的なサービス水準の維持に向け、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転の実証調査を行うことで、今後のこまき巡回バス「こまくる」への自動運転の導入を推進することができそうです。

3 事業概要

令和7年度は、自動走行が可能なバス型車両を引き続き使用して、こまき巡回バス「こまくる」の運行ルートを走行し、走行性や安全性などの検証を深め、無人での自動運転走行に向けた検証を進めていきます。

令和5年度実績	令和6年度実績
	
使用車両: ARMA(アルマ) 最高速度: 20km/h 乗車定員: 最大 10 名 自動運転レベル: レベル2	使用車両: minibus(ミニバス) 最高速度: 35km/h 乗車定員: 最大 14 名 自動運転レベル: レベル2

※自動運転レベル2: アクセル・ブレーキ操作及びハンドル操作の両方を、部分的に自動化した状態



こまき巡回バス「こまくる」運行事業

都市政策部 都市整備課

1 予算額 393,517千円

(債務負担行為 2,045,000千円)

2 目的及び効果 公共交通による市民の移動手段の確保のため、こまき巡回バス「こまくる」を運行することにより、公共交通の利便性が向上します。

3 事業概要

こまき巡回バス「こまくる」の運行を継続して行く(23路線、運行台数17台、概ね1時間に1本の運行)とともに、利用者の方々が乗降しやすくなるよう、引き続き、既設のバス停の改善を行います。

また、令和8年4月に予定しているこまき巡回バス「こまくる」の再編運行に向け、運行事業者の選定、こまくるガイド等の印刷、バス停時刻表の張り替えなどの準備を進めます。



こまき巡回バス「こまくる」

こまき巡回バス「こまくる」の乗車には、スマートフォンなどでバスの到着予定時刻などを確認できる「バスロケーションシステム」が便利です。

詳細はこちら ▶



基本施策 25

道路・橋りょう

◆基本施策の目的

老朽化した橋りょうなどの道路施設が計画的に修繕され、渋滞や交通事故がなく円滑・安全・快適に移動できる道路交通環境が整ったまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
主要な渋滞発生箇所数	20 か所	20 か所				↘
歩行者、自転車の交通事故件数	150 件	185 件				↘

◆展開方向1:円滑に移動できる道路を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
都市計画道路の整備率	78.1%	78.1%				↗
狭あい道路の整備率	0%	0.2%				↗
渋滞対策の実施箇所数 (累計)	5か所	6か所				↗

◆展開方向2:歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
通学路歩道(歩車分離)整備率	50.4%	50.6%				↗
自転車通行帯の整備率	0%	0%				↗

◆展開方向3:重要橋りょうと横断歩道橋の安全な通行を確保します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
重要橋りょうの長寿命化修繕工事の進捗率	46.9%	47.3%				↗
横断歩道橋修繕工事の進捗率	68.8%	75.0%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



道路整備事業

建設部 道路課

- 1 予算額 255,000千円
- 2 目的及び効果 生活環境に配慮した人にやさしい道路を整備し、歩行者や自転車が安全に通行できるようにします。
- 3 事業概要
 - 道路新設改良事業 191,000千円
 - 道路舗装新設事業 15,000千円
 - 道路側溝新設事業 45,000千円
 - 街路新設改良事業 4,000千円

本庄山ノ田1号線新設改良事業状況写真



(着手前)



(完了)



基本施策 26

上下水道

◆基本施策の目的

安全な水道水の安定的な供給や、下水道の整備・普及により、衛生的で快適に暮らせるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
基幹管路の事故割合(水道事業)	0件/100km	0件/100km				→
公共下水道普及率(下水道事業)	77.9%	78.3%				↗

◆展開方向1:健全かつ安定的な経営でサービスを維持します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
経常収支比率(水道事業)	111.9%	111.0%				100%以上
経常収支比率(下水道事業)	99.7%	101.1%				100%以上
経費回収率(下水道事業)	58.8%	59.0%				↗

◆展開方向2:安全な水を供給します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
水質基準不適合率	0%	0%				→

◆展開方向3:公共下水道の普及・接続を促進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公共下水道整備進捗率	72.0%	73.2%				↗
公共下水道接続率	72.1%	72.4%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向4:施設の適切な維持及び計画的な更新を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
管路の耐震管率(水道事業)	25.1%	25.8%				↗
水道施設事故停止件数(水道事業)	0件	0件				→
下水道施設事故停止件数(下水道事業)	0件	0件				→
不明水率(下水道事業)	21.6%	22.0%				↘

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

基本施策 27

河川・水路

◆基本施策の目的

いつ起きるか分からない大雨による浸水被害を最小限に抑制することで、市民の貴重な生命と財産を守り、誰もが安全・安心に暮らせるまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
床上、床下浸水の被害戸数	3戸	0戸				↘

◆展開方向1:浸水区域を解消します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
準用河川の整備率	24.7%	24.9%				↗
雨水整備区域の整備率	9.5%	9.5%				↗

◆展開方向2:河川への雨水流出を抑制します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
雨水貯留施設整備の進捗率	72.2%	72.2%				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



地域の水害対策事業

建設部 河川課

1 予算額 201,959千円

2 目的及び効果 降雨を速やかに流下・排水できるように河川水路の整備を行うとともに、短時間での豪雨などに備え、一時的に雨水を貯留する施設の整備を行うことにより、水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制することができます。

3 事業概要

○河川水路整備事業 192,959千円

新濃尾土地改良関連整備事業

基幹的広域防災拠点関連整備事業等



令和6年度施工
河川水路整備事業
(新濃尾土地改良関連整備事業)

○雨水対策事業 9,000千円

北西部地区公園雨水貯留施設整備事業



基本施策 28

公園・緑地・緑道

◆基本施策の目的

安全で快適な公園整備を進め、市民がうるおいを感じることができる
緑とやすらぎのある美しいまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公園緑地の箇所数	191 か所	192 か所				↗
市内の公園を訪れた市民の割合	62.0% (令和3年度)	63.1%				↗

◆展開方向1:緑の多い環境を整備します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市民1人当たりの都市公園面積	7.77 ㎡	7.78 ㎡				↗
ワークショップなどを通じ、地域住民のニーズを反映させて新たに整備・改修した都市公園数	5か所	6か所				↗
市からの働きかけにより緑化推進に取り組んだ企業数	40 件	42 件				↗

◆展開方向2:安全・快適な公園を維持します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
公園管理者の過失による事故件数	1件	0件				↘
管理委託団体が管理する都市公園数	94公園	95公園				↗

◆展開方向3:公園の魅力向上を図ります

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市民四季の森を訪れた人数	91,399 人 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



公園緑地施設整備事業

都市政策部 みどり公園課

1 予算額 943,500千円

2 目的及び効果 公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供します。

3 事業概要

○主な都市公園等



名称	種別・面積 /箇所数	予算額 (千円)	事業内容
町屋公園 岩崎山前区画整理	街区公園 0.15ha	70,000	整備工事
北西部地区公園	近隣公園 1.6ha	723,000	道水路工事 用地購入
松林東公園 小牧南区画整理	街区公園 0.32ha	97,000	整備工事
児童遊園 (小木下※、久保一色※、 小牧原、春日寺、多気)	5箇所	53,500	実施設計※ 再整備工事等



新規

市道犬山公園小牧線街路樹再生事業

都市政策部 みどり公園課

1 予算額 25,266千円

2 目的及び効果 老朽化や大径木化が進んだ街路樹について、計画的に植え替え更新を行うことで、歩行者等の安全を確保しながら、良好な街並み景観を形成します。

3 事業概要

歩行者やドライバーへの安全や景観に配慮したうえで、老朽化や大径木化した街路樹の再生を図ります。

- ・令和4年度「小牧市街路樹再生指針」策定
- ・令和5年度「市道犬山公園小牧線街路樹再生計画」策定
- ・令和6年度 当該路線の実施設計業務を実施

令和7年度以降は、愛知県の「美しい並木道再生事業」交付金を活用しながら当該路線（総延長 5,152m）の高木落葉樹（プラタナス、トウカエデ）を、常緑ヤマボウシに植え替えを行うことで、樹木更新と併せて、今後の維持管理コストの軽減も図ります。

常緑ヤマボウシとは…

本来落葉樹のヤマボウシのうち常緑の品種。花言葉は友情。葉が変形した総苞片の中心に小花が集まって咲き、花もちがよい。樹高は3～5m。開花時期は6月～8月。

常緑ヤマボウシ



市道犬山公園小牧線



基本施策 29

住宅・居住

◆基本施策の目的

地震をはじめとする災害に強く、良質で人にやさしい住宅をストックすることで、市民のライフスタイルや居住選択を尊重し、安全・安心に暮らすことができる居住環境を形成するまちにします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
耐震化等を要する木造住宅の戸数	2,785 戸	2,752 戸				↘
新築住宅のうち長期優良住宅認定住戸の割合	42.3%	43.6%				↗
管理不全空き家の棟数	27 棟	24 棟				↘
20～40 歳代の平均転出超過数(3か年平均)	438 人	411 人				↘

◆展開方向1:安全・安心な住宅の整備を進めます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
民間木造住宅耐震改修費などの補助件数	34 件	33 件				↗
マンション管理計画認定を受けた件数	0件 (令和5年度)	—				↗

◆展開方向2:人にやさしい市営住宅を供給します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
福祉世帯の入居率	68.2%	68.2%				↗

※ 基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

第Ⅲ部 分野別計画編

第6章 都市基盤・交通

◆展開方向3:管理不全の空き家がない、良好な居住環境を形成します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
空き家セミナー及び個別相談会参加者数	24 人	37 人				↗
空き家管理業務実施件数(累計)	16 件	89 件				↗
空き家等除却工事費補助金交付件数(累計)	86 件	116 件				↗
定住促進補助金(中古住宅活用タイプ)交付件数(累計)	34 件	82 件				↗

◆展開方向4:若年世代の定住を促進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
定住促進事業による若年世代の定住者数(累計)	1,652 人	2,335 人				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



充実

定住促進事業

都市政策部 都市計画課

1 予算額 64,800千円

2 目的及び効果 若年層の定住及び中古住宅の利活用を促進します。

3 事業概要

令和7年5月1日以降の住宅の取得、新築等の契約分から新たな定住促進支援を開始します。また、新たな制度では市内小売店等の振興に寄与するため、これまでの現金給付から、こまきプレミアム商品券（贈答用）での給付に変更します。

なお、現在の制度については、経過措置として令和7年度まで申請を受け付けます。

〈新制度の概要（令和7年5月1日より開始）〉

タイプ	基礎額	新婚世帯加算	中古住宅加算
三世代同居タイプ （最大 60 万円）	40 万円	10 万円	10 万円
三世代近居タイプ （最大 30 万円）	10 万円	10 万円	10 万円

タイプ	基礎額	中古住宅加算
市内就業者 新生活応援タイプ※ （最大 20 万円）	10 万円	10 万円



※住宅の取得、新築等の契約時に婚姻から3年までの新婚世帯、又は住宅を取得、新築等の契約をした年度末に7歳以下（第1子）の子がいる世帯を対象とします。





第Ⅳ部

自治体経営編

基本施策 30

協働・情報共有

◆基本施策の目的

市民と行政が、適切な役割分担や情報共有のもと、信頼関係を深めながら同じ目的・目標を共有し、協働によるまちづくりを推進します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市内の公益的活動(ボランティア活動、市民活動、NPO活動、事業所などの地域貢献活動など)に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合	9.0% (令和5年度)	—				↗
区や、区を単位とした地域活動(地域3あい事業、子ども会、老人クラブなど)に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合	21.9% (令和5年度)	—				↗
市からの情報発信が充実していると感じる市民の割合	72.6% (令和5年度)	—				↗

◆展開方向1:協働によるまちづくりの環境を充実します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」利用登録団体数	262 団体	293 団体				↗
協働による事業実施数	73 事業	70 事業				↗

◆展開方向2:地域コミュニティ活動を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
区長を対象とした研修会などの参加者数	238 人	309 人				↗
自治会連絡網アプリケーションを活用する世帯数	495 世帯	853 世帯				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向3:情報共有を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
市ホームページへのアクセス件数	740,454 件/月	720,284 件/月				↗
市政情報に関する動画の投稿数(累計)	759 件	917 件				↗
市 SNS のフォロワー数	73,390 人	76,377 人				↗
デジタルデバйд対策(スマホ講座、スマホ相談会等)の参加者数	189 人	1,359 人				↗
オープンデータとして公開したデータ数	158 (令和5年度)	—				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



高齢者デジタルサポート事業

市長公室 行政改革課

1 予算額 2,900千円

2 目的及び効果 社会全体のデジタル化が進む中、高齢者をはじめとした誰もがデジタルを活用することができるよう、スマートフォンの操作に不安がある市民を対象に、スマートフォンの利便性を体感し、基本的な操作方法の習得やマイナンバーカード(マイナポータルへのログイン)・市の公式LINEの活用などを目的としたスマホ教室を実施します。



3 事業概要

○ 予約制講座(集合型教室)

市民センター、中央図書館において、スマートフォンの基礎講座を実施します。スマートフォンを保有していない人も参加できるように貸出機器を用意します。

○ 予約制講座(スマホステップアップ講座)

市役所において、3回の講座を継続的に受講し、スマートフォンの基本操作やLINE・キャッシュレス決済などの活用方法を学ぶことができる講座を開催します。

○ ふらっとスマホ相談会

老人福祉センターにおいて、気軽にスマートフォンに関する相談ができるブースを開設します。

○ 出張スマホ教室

スマホ教室の開催を希望する団体を募集し、講師を現地に派遣して、スマホ教室を実施します。



基本施策 31

行政サービス

◆基本施策の目的

サービスの受益者であり負担者でもある市民に対し、利便性・質の高い行政サービスを提供します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
マイナンバーカード保有率	66.8%	74.4%				↗
来庁件数(呼び出しシステムによる発券数)	183,554 件	162,011 件				↘
各種証明書の交付におけるコンビニ交付の割合	20.0%	28.3%				↗
指定管理者制度導入施設の利用者数	1,873,483 人	2,345,971 人				↗
行政サービスに満足している市民の割合	82.5% (令和5年度)	—				↗

◆展開方向1:利便性の高い市民サービスを提供します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
転入予約型ワンストップ窓口の利用者数	65 件	56 件				↗
こまき山コンシェルジュの回答について、市民に「役に立った」と評価された割合	59.3% (令和5年度)	—				↗
オンライン申請が可能な行政手続数	122 件	144 件				↗
オンライン申請数	257,971 件	282,400 件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向2: 民間活力の活用や連携を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
協定等を締結した事業者等と連携して実施した事業数	56 件	57 件				↗
指定管理者制度導入・民間移管を新たに実施した施設数(累計)	0件	1件				↗
「課題提案型実証事業」に基づいて実証した事業数(累計)	2件	2件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

充実

業務効率化ツール導入事業

市長公室 行政改革課

1 予算額 4,418千円

2 目的及び効果 オンライン申請システムの機能を追加し、オンライン上で市民と市がやり取りできるようにするなど市民の利便性向上を図ります。

また、市職員の DX 意識の向上のため、一人ひとりが業務効率化に資するツールを作成できるノーコードツールを導入します。

3 事業概要

オンライン申請システムにマイページ機能やキャッシュレス決済機能を追加し、オンライン上で市民と市がやり取りできるようにするなど市民の利便性向上を図ります。

また、プログラミングの知識が少ない職員でも、システム構築を内製化できるシステムを導入し、業務効率化やシステム開発に係る費用の削減を図ります。



基本施策 32 行政運営

◆基本施策の目的

これからの時代に必要とされる人材の育成やコンプライアンスの推進、課題解決につながる組織体制の構築、経営資源の適正配分などを通じて効果的・効率的な行政運営を推進します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
人件費比率（普通会計ベース）	15.3% （令和3年度）	15.7% （令和4年度）				↘
類似団体における職員数の順位	3/17 団体	3/17 団体				↗
自治体経営に係る展開方向の進捗状況を測定するための指標の改善数	23 （令和5年度）	—				↗

◆展開方向1：行政を取り巻く環境に即した人材マネジメントと組織体制の整備を行います

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
新規採用職員の充足率	91.9%	92.4%				↗
行動指針に基づいた行動ができている職員の割合	—	—				↗
自己啓発に取り組んだ職員数	146 人	162 人				↗
年次有給休暇の取得率（行政職）	58.5%	67.0%				↗
組織横断的なプロジェクトチームの設置数	6件	4件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は（）書きで基準年度等を示しています。

◆展開方向2:コンプライアンスを推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
内部統制制度において識別した不備の件数	15 件	20 件				↘
ハラスメントを受けたと感じた時にどこにも相談しなかった職員の数	30 件	37 件				↘

◆展開方向3:事業効果の高い施策形成に取り組みます

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
行政評価による削減額(累計)	49,972 千円	119,141 千円				↗
デジタルの活用に関する研修受講者数	190 人	287 人				↗

◆展開方向4:業務の改善・効率化を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
業務プロセスの見直しや業務改善を実施した事業数	260 件	277 件				↗
文書電子処理率(電子による起案・供覧の処理率)	71.3%	78.7%				↗
フリーアドレスの導入部署数(累計)	0課室	2課室				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



新規

電話交換機クラウド化事業

総務部 資産管理課

- 1 予算額 23,948千円
- 2 目的及び効果 電話交換機をクラウドシステムに更新し、電話機をスマートフォンに変更します。これにより、庁舎外での業務にも迅速に対応が可能になるほか、組織改正や災害時等にも柔軟に対応ができ、将来的には市内公共施設の電話交換機の一元化も可能になります。

3 事業概要

庁舎内に設置されている電話交換機をクラウド上に設置し、インターネットを介して電話機能を利用するクラウドシステムに更新し、事務室の電話機をスマートフォンに変更します。

また、電話交換機の更新に合わせて、カスタマーハラスメント対策となる全通話録音機能や自動ガイダンス機能なども追加します。



基本施策 33

財政運営

◆基本施策の目的

将来にわたって、健全財政を維持します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
経常収支比率(参考:類似団体順位※)	88.7% (27/37 団体※) (令和3年度)	89.5% (15/30 団体※) (令和4年度)				→(↗)
財政力指数(参考:類似団体順位※)	1.22 (4/37 団体※) (令和3年度)	1.20 (4/30 団体※) (令和4年度)				→(↗)
有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)	52.8% (令和3年度)	53.6% (令和4年度)				↘

◆展開方向1:受益者負担の適正化と歳入確保の強化を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
こまき応援寄附金の寄附額	1,325,815 千円	1,461,289 千円				↗
市税収納率	96.7% (令和3年度)	97.3% (令和4年度)				↗

◆展開方向2:歳出の削減と合理化を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
前年度当初予算と比べた経常事業経費の削減額(累計)	138,693 千円	140,884 千円				↗

◆展開方向3:健全で計画的な財政運営を推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
実質公債費比率	0.8% (令和3年度)	0.7% (令和4年度)				2.5%以内

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。



◆展開方向4:計画的な公共ファシリティマネジメントを推進します

指標名	基準値	R5	R6	R7	R8	目指す方向
保全計画に基づいて実施した施設の修繕・改修件数(累計)	8件	19件				↗

※基準値は原則として令和4年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準年度等を示しています。

◆自治体経営の体系

「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」の第Ⅴ章自治体経営編に位置づけられた4つの基本施策の展開方向に対して、計画期間内に本市が効果的・効率的な自治体経営を目指して取り組むべき具体的な事項を定めるものとします。

ただし、環境変化等によって新たにに取り組むべき課題が発生するなどした場合は、適宜取組項目の見直し等を行い、その時々状況に応じた最適な手法により行政改革を推進します。

自治体経営改革推進計画(令和5年度～令和8年度)

まちづくり推進計画		No.	取組項目	担当課
基本 施策	展開方向			
30 協働・ 情報共有	1 協働による まちづくりの環 境を充実します	1	市民活動団体の活動支援	支え合い協働推進課
		2	こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」 における支援体制の強化	支え合い協働推進課
		3	ボランティアとのマッチング支援	支え合い協働推進課
	2 地域コミュニ ティ活動を推進 します	4	区(自治会)活動の支援	自治会支援室
		5	区長事務の負担軽減	自治会支援室
		6	区(自治会)活動の活性化	自治会支援室
	3 情報共有を 推進します	7	情報提供の充実	広報広聴課
		8	スマホ教室等の開催	広報広聴課 行政改革課
		9	動画による市政情報発信の推進	広報広聴課
		10	広聴機能の充実	広報広聴課
		11	SNS等を活用したアンケート調査の実 施・周知	広報広聴課 行政改革課
		12	オープンデータの整備・拡充	行政改革課



まちづくり推進計画		No.	取組項目	担当課
基本 施策	展開方向			
31 行政サービス	1 利便性の高い市民サービスを提供します	13	窓口業務の改善	行政改革課 市民窓口課(各支所) 関係課
		14	AIチャットボットの活用	広報広聴課
		15	オンライン手続きの拡充やプッシュ型行政サービスの導入	行政改革課
	2 民間活力の活用や連携を推進します	16	多様なPPP/PFI手法の導入	行政改革課
		17	包括連携協定の推進	秘書政策課
		18	指定管理者制度、民間移管の活用	行政改革課
		19	民間委託の推進	行政改革課
		20	課題提案型実証事業の推進	行政改革課
32 行政運営	1 行政を取り巻く環境に即した人材マネジメントと組織体制の整備を行います	21	採用試験の実施方法の検討	人事課
		22	自ら考え挑戦する人材の育成	人事課
		23	職員研修制度の充実	人事課
		24	柔軟な職員体制・配置	人事課
		25	人事評価制度の推進	人事課
		26	ワーク・ライフ・バランスの推進	人事課
		27	効率的・効率的な組織体制の整備	行政改革課
		28	組織横断的なプロジェクトチームの活用	行政改革課
	2 コンプライアンスを推進します	29	内部統制の啓発	人事課
		30	リスクマネジメントの推進	人事課
		31	ハラスメント防止・相談体制の強化	人事課

第Ⅳ部 自治体経営編

まちづくり推進計画		No.	取組項目	担当課
基本 施策	展開方向			
32 行政運営	3 事業効果の高い施策形成に取り組めます	32	行政評価制度の推進	行政改革課
		33	戦略会議の開催	秘書政策課 関係課
		34	広域連携の推進	秘書政策課 関係課
		35	デジタルを活用した政策立案の推進	行政改革課
	4 業務の改善・効率化を推進します	36	提案・事務改善等を具現化する取組の推進	行政改革課
		37	業務改善の推進	行政改革課
		38	フリーアドレスの導入	行政改革課
		39	標準準拠システムへの移行	行政改革課
33 財政運営	1 受益者負担の適正化と歳入確保の強化を推進します	40	使用料・手数料の見直し	財政課
		41	補助金等の確保	財政課 関係課
		42	自主財源の確保・充実(こまき応援寄附金など)	財政課 商工振興課
		43	市税等の収納率向上のための取組	収税課 債権回収特別対策室
	2 歳出の削減と合理化を推進します	44	経常的経費の削減	財政課
		45	小牧市公共工事コスト改善プログラムの推進	契約検査課
		46	既存補助金等の見直し	財政課
	3 健全で計画的な財政運営を推進します	47	基金や市債の計画的な活用	財政課
		48	公金運用の推進	会計課
	4 計画的な公共ファシリティマネジメントを推進します	49	公共施設適正配置計画の見直し	資産管理課
		50	公共施設の長寿命化の推進	資産管理課
		51	公共施設の保全計画に基づく、予防保全工事等の実施	資産管理課





小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画

実施計画(令和7～9年度)

当初予算の概要(令和7年度)

発 行 小 牧 市

作 成 市長公室 秘書政策課

総 務 部 財 政 課

〒485-8650

小牧市堀の内三丁目1番地

TEL 0568-72-2101(代表)

<https://www.city.komaki.aichi.jp/>

(令和7年2月)





小 牧 市